

目黒区美術館年報 平成3年度

目黒区美術館年報

平成3年度

目次

I. 展覧会	4
II. 教育普及	38
III. 入館状況	40
IV. 作品収集	41
V. 作品貸出	45
VI. 刊行	46
VII. 区民ギャラリー	47
VIII. ボランティア	49
IX. 沿革	50
X. 施設	51
XI. 案内	53

1. 展覧会

写真のエコール・ド・パリ展

会期：1991(平成3)年4月13日－5月26日

会場：展示室A・B・C、展示ロビー、ワークショップ、エントランスホール

主催：目黒区美術館／ニッポン放送／産経新聞社

後援：フランス大使館／エールフランス国営航空／イルフォード アニテック

協賛：資生堂

協力：PICTO／ツァイト・フォト

担当学芸員：正木 基、矢内みどり

巡回スケジュール：1991年6月22日－7月28日 三重県立美術館

8月31日－9月29日 北海道立近代美術館

10月9日－12月9日 河口湖美術館

1992年2月15日－3月29日 静岡県立美術館

4月4日－5月10日 ひろしま美術館

7月9日－8月9日 米子市美術館

8月21日－9月2日 近鉄アート館

美術においてエコール・ド・パリと呼ばれる一群の作家の活動については、これまで美術のファンの間で広く親しまれてきた。それに対して、同時代に彼ら同様、パリを訪れ、それぞれの芸術を目指した写真家たちの仕事については、断片的には知られていたものの、これまでまとめて紹介される機会はあまりなかったことが本展開催の契機となった。芸術のつぼであったパリで、彼ら写真家はカメラのファインダーを覗きながら、ファッション、ジャーナリズム、映画、音楽、文学など他のジャンルの人々と幅広く接触し、シャッターを押し続けた。その結果、今日の私たちに、写真家たちのまなざしによって〈写されたパリ〉がネガとして、プリントとして遺されることになった。

本展は、その20世紀初頭の写真都市パリの活動を、〈写真のエコール・ド・パリ〉と言う新たな視点から捕らえ直し、世に問うたもので、この新たな定義づけにはさまざまな反応が寄せられ、写真史や美術史、さらには当時の社会風俗史の研究に一石を投じたように思う。

●カタログ

寸法：29.0×21.8cm

ページ数：116頁

デザイン：サッシイ・ファム、林 成光

内容：ごあいさつ(主催者)／モダニズムのレンズ(ドミニク・バッケ)／ピエール・ガスマン氏とのインタビュー
写真都市パリ(石原悦郎)／図版／パリ、写真の首都－アンドレ・ケルテスの作品は語る－(荒屋鋪透)／写真家のパリ(地家光二)／作家解説／主要参考文献／年表

●ポスター

サイズ：B2, B3

デザイン：サッシイ・ファム、林 成光

●チラシ

サイズ：B5(4頁)

デザイン：サッシイ・ファム、林 成光

●主要関連記事

「現像は創作、巨匠の『目』を追う」 ピエール・ガスマン 日本経済新聞 1991年4月8日

「写真のエコール・ド・パリ展」(無署名) 毎日新聞 1991年4月18日

「写真／写真のエコール・ド・パリ展」 柳本尚規 公明新聞 1991年4月24日

「展評 多様な表現の出発点 写真のエコール・ド・パリ」(O) 産経新聞 1991年4月29日

「写真におけるエコール・ド・パリを知る」 清水敏男 アサヒカメラ 1991年6月号

「世紀末の視界Ⅲ ロマンの時代」 海野 弘 アトリエ 1991年7月号

「現代写真時評」 柳本尚規 Photography 1991年9月号



写真のエコール・ド・パリ 2019年10月10日〜11月10日 東京都港区三軒茶屋
 2019年10月10日〜11月10日 東京都港区三軒茶屋
 1 展覧 日本写真協会 国際写真展 有隣堂 東京写真展 2 展覧 フランス大学 美術系 3 展覧 フランス大学 美術系 4 展覧 フランス大学 美術系 5 展覧 フランス大学 美術系
 6 展覧 フランス大学 美術系 7 展覧 フランス大学 美術系 8 展覧 フランス大学 美術系 9 展覧 フランス大学 美術系
 10 展覧 フランス大学 美術系 11 展覧 フランス大学 美術系 12 展覧 フランス大学 美術系 13 展覧 フランス大学 美術系
 14 展覧 フランス大学 美術系
 目録区美術科

B2ポスター



会場風景

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	素材、技法	寸法(cm)
1	ロール・アルバン=ギヨ	題名不詳	1940	vintage	38.1×28.1
2		題名不詳	1938	vintage	45.1×41.8
3		裸婦	1937	vintage	55.0×36.0
4	ウージェーヌ・アジェ	コンピエーニュ、骨董屋	1910	modern print by P. Gassmann	23.2×17.6
5		ポンプ、ギューミット通り8番地	1921 or 1922	modern print by P. Gassmann	23.4×17.7
6		ベルシーの倉庫(ポルト・ド・ベルシー通りとレオポルド通りの角)	1913	modern print by P. Gassmann	17.9×23.7
7		中庭(場所不詳)	1914 or 1924	modern print by P. Gassmann	23.4×17.8
8		サン・クルー、公園、泉	1925	modern print by P. Gassmann	24.2×17.7
9		家(場所不詳)	1914	modern print by P. Gassmann	18.1×23.7
10		中庭(場所不詳)	1919	modern print by P. Gassmann	23.4×17.8
11		タイトル不詳	1919	modern print by P. Gassmann	18.1×23.9
12		ルアンの中庭	1923	modern print by P. Gassmann	17.9×23.8
13		アルケイル(ヴァル=ド=マルヌ県)、教会:柱頭	1915	modern print by P. Gassmann	17.8×23.8
14		ジェンティリー、中庭と教会の鐘楼	1915	modern print by P. Gassmann	17.9×23.8

No.	作家名	作品名	制作年	素材,技法	寸法(cm)
15	ウージェーヌ・アジェ	シャラントン, 製粉工場	1915	modern print by P. Gassmann	17.8×23.8
16		サクレ=クールとサン=ビエール=ド=モンマルトル	1923	modern print by P. Gassmann	23.7×17.3
17		帽子職人C夫人の室内, サン・タンドレ・デ・ザール	1910	modern print by Berenice Abbott	23.2×17.4
18		労働者の部屋, ロメンヴィル通り	1910	modern print by Berenice Abbott	23.2×17.4
19	ハンス・ベルメール	題名不詳	1936	modern print by P. Gassmann	26.4×26.6
20		人形	1935	modern print by Roger Vulliez	16.3×16.3
21		人形	1938	modern print by Roger Vulliez	25.7×26.1
22		人形	1935	modern print by Roger Vulliez	25.7×26.1
23		人形	ca.1938	modern print by Roger Vulliez	25.7×26.2
24		人形	1935	modern print by Roger Vulliez	25.7×25.9
25		人形	1938	modern print by Roger Vulliez	25.7×26.1
26		人形	ca.1935	modern print by Roger Vulliez	16.3×16.3
27		人形	1935	modern print by Roger Vulliez	16.3×16.3
28	ブラン・エ・ドミリー	サボテンの花	ca.1930	vintage	29.7×39.6
29		ブルジュの湖	ca.1930	vintage	29.6×29.7
30		ブルジュの湖	ca.1930	vintage	29.5×29.7
31	エルヴィン・ブルメンフェルト	ナタリー・パスコフ	1942	vintage	33.6×26.8
32		濡れた布に覆われた女, パリ	1938	vintage	33.3×26.1
33	ジャック=アンドレ・ボワッフアール	題名不詳		modern print by P. Gassmann	22.7×18.3
34		題名不詳		modern print by P. Gassmann	28.5×22.0
35		題名不詳		modern print by P. Gassmann	28.7×24.1
36		題名不詳(ジョルジュ・バタイユ監修の雑誌『ドキュマン』のための写真)		modern print by P. Gassmann	28.4×21.7
37		題名不詳(ジョルジュ・バタイユ監修の雑誌『ドキュマン』のための写真)		modern print by P. Gassmann	28.2×21.9
38		題名不詳(ジョルジュ・バタイユ監修の雑誌『ドキュマン』のための写真)		modern print by P. Gassmann	28.3×22.2
39		題名不詳(ジョルジュ・バタイユ監修の雑誌『ドキュマン』のための写真)		modern print by P. Gassmann	28.4×21.7
40		アルベルト・ジャコメッティ		modern print by P. Gassmann	21.3×28.2
41		題名不詳		modern print by P. Gassmann	21.9×28.2
42		題名不詳		modern print by P. Gassmann	22.7×18.7
43	ピエール・ブーシェール	モロッコの風景の中にコラーージュされたヌード(アトラス山脈南部)	ca.1937	vintage	22.3×17.4
44		題名不詳	1939	vintage	25.4×18.6
45		ノルマンディー号のスクリュエ	1937	modern print	29.2×29.1
46		ソビエトの列車の車輪	1937	modern print	29.4×28.1
47		パリ 北駅	1934	modern print	29.0×28.2
48		ノルマンディー号(サン・ナゼール港)	1937	modern print	29.2×28.3

No.	作家名	作品名	制作年	素材,技法	寸法(cm)
49	コンスタンティン・ブランクーシ	タイトル不詳(Léda, 1926年を写したもの)		vintage	22.7×29.7
50	ブラッサイ	バリの落書	1930-40	vintage	39.9×29.5
51		バリの落書	1930-40	vintage	37.4×25.6
52		霧, オプゼルヴァトワール通り	ca.1934	vintage	29.0×22.0
53		ボン・デ・ザール橋の下を流れるセース川	ca.1934	vintage	29.2×20.9
54		春物の服を着た娼婦	1932-33	vintage	29.6×22.4
55		ベルシー河岸通り	ca.1932	vintage	29.7×23.1
56		イタリア地区の娼婦	ca.1932	vintage	29.6×22.1
57		『女豹』モルナルナス	ca.1932	modern print	24.8×22.4
58		夜会(舞踏会) シャトルレにて	1931	vintage	24.5×18.0
59		だきあうカップル	1932-33	vintage	27.5×21.6
60		娼家スージー	1932-33	vintage	29.5×22.3
61		マティスとモデル	1939	vintage	38.4×26.2
62		アンブロワーズ・ヴォーラル	1932	vintage	39.2×29.7
63		サルヴァドール・ダリの1933年のポートレート	1933	vintage	28.7×29.5
64		セルフポートレート。夜を写すブラッサイ, サン・ジャック通りにて	1931-32	modern print	30.4×22.5
65		アンリ・ミショー	1945	vintage	26.2×17.9
66		我家の戸口に立つヘンリー・ミラー	1931	vintage	29.4×22.5
67		アトリエのジョルジュ・ブラック	1946	vintage	39.2×29.8
68		裸婦 横から見たトルソ	1931-32	vintage	20.3×28.4
69		女の背中	1931-32	vintage	28.3×38.6
70	アンリ・カルティエ=ブレッソン	メキシコ, 1934年	1934		35.6×23.6
71		カテモシン通り, メキシコ, 1934年	1934		23.7×35.6
72		マルヌ河岸	1938		23.7×35.8
73		サン=ラザール駅, バリ, 1932年	1932		36.2×24.7
74		ジョワンヴィル=ル=ボン, 1938年	1938		35.9×23.8
75		ブラド通り, マルセイユ, 1932年	1932		35.8×24.1
76		リヴォルノ, 1932年	1932		35.8×24.1
77		マルセイユ, 1932年	1932		36.0×23.7
78		解放された収容所で, 密告された一人の女性から確認を受けるゲシュタポの情報提供者, 1945年	1945		23.8×35.8
79		マドリッド, 1933年	1933		23.8×35.8
80		グラナダ, 1933年	1933		24.0×35.7
81		セビリア, 1933年	1933		23.8×36.2
82	ロベール・ドワノー	占領下のパリ	1945	vintage	30.5×24.1
83		エフ・エフ・アイ	1945	vintage	14.7×13.0
84		パリ解放運動	1945	vintage	30.0×26.0
85	ジゼル・フロイント	アンドレ・ジイド, バリ	1939	vintage hand colored	40.0×25.5
86	ピエール・ガスマン	テュラ	1934	vintage	23.6×16.0
87		セルフポートレート	1936 or 37	vintage	30.0×23.8
88		バリ	1938	vintage	23.8×16.0
89		『ファニー・サーカス』の道化師と少女の恋	1936-37	modern print	37.5×25.1
90		ドイツの強制収容所から逃げてきた踊る子供たち, モアサックの再教育センター	1945	vintage	30.4×28.2
91		入口のマダム・ファニー	1936	modern print	25.8×38.5
92		バリ	1933-34	modern print	36.7×24.6
93		バリ	1933	modern print	35.1×23.5
94		バリ	1933-34	modern print	24.0×32.0
95		バリ	1933	modern print	36.7×24.7
96		リュクサンプル公園	1937	modern print	23.0×32.7
97		祭りの遊園地の乗物, バリ		vintage	22.6×17.0
98		バリ	1933-34	modern print	34.5×33.9
99	ホルスト	ベッティナ・バラール	1935-40	vintage	24.4×19.5
100		題名不詳	1934	vintage	23.0×18.5

No.	作家名	作品名	制作年	素材,技法	寸法(cm)
101	ゲオルグ・ホイニンゲン=ヒューネ	題名不詳(『ヴォーグ』のための作品)	1933	vintage	21.7×16.1
102		モンテカルロ, 1932年(『ヴォーグ』のための作品)	1932	vintage	22.1×16.5
103		モンテカルロ, 1932年(『ヴォーグ』のための作品)	1932	vintage	21.7×16.1
104	ピエール・ジャアン	月の光り	1932	vintage	28.1×22.2
105		題名不詳	1935	vintage	38.6×29.1
106	アンドレ・ケルテス	ボン・デ・ザール, パリ	1932	modern print	34.8×24.8
107		ティハニー, カフェ・デュ・ドーム, パリ	1925	modern print	27.0×34.5
108		ノートル=ダムの裏, 1925年10月, パリ	1925	modern print	27.3×34.7
109		ムードン	1928	modern print	34.8×24.8
110		おどけたダンサー, パリ	1926	modern print	34.8×27.4
111		メランコリック・チューリップ	1939	modern print	34.7×25.4
112		フォーク, パリ	1928	modern print	27.3×34.3
113	フランソワ・コラー	ウィンザー公爵夫人	1938	vintage	27.9×20.8
114		題名不詳	1929	vintage	22.0×16.0
115	ジェルメーヌ・クルル	題名不詳		vintage	21.4×14.2
116		パリの屋根	1926	vintage	22.4×14.4
117		モリーヌ, パリ	1930	vintage	22.3×16.0
118	ジャック=アンリ・ラルティエグ	シモース	1913	modern print	24.1×30.9
119		3つの製作中の像	1940	modern print	17.7×18.1
120		シャモニーのビビ	1920	modern print	24.1×27.1
121	エリー・ロタール	海の怪物	ca.1930	vintage	22.0×15.9
122	マン・レイ	涙	ca.1930	modern print by P. Gassmann	22.0×29.8
123		題名不詳		modern print by P. Gassmann	19.8×29.0
124		接吻/ネガ	1930	modern print by P. Gassmann	22.5×28.7
125		黒と白	1926	modern print by P. Gassmann	21.2×28.1
126		カサティ侯爵夫人	1922	modern print by P. Gassmann	28.3×19.7
127		モンパルナス大通りの眺め, カフェにて	ca.1931	modern print by P. Gassmann	15.3×38.1
128		詩人, ダヴィデ王	1938	modern print by P. Gassmann	35.6×28.7
129		屏風	ca.1935	modern print by P. Gassmann	38.4×27.6
130		題名不詳	ca.1927	modern print by P. Gassmann	29.8×22.5
131		手, プレスレット, 建築学的デッサン	1935	modern print by P. Gassmann	28.6×21.9
132		ファッション写真		modern print by P. Gassmann	16.6×22.7
133		ファッション写真	ca.1930	modern print by P. Gassmann	29.1×20.7
134		ファッション写真	1925	modern print by P. Gassmann	23.4×17.5
135		理性への回帰	1923	modern print by P. Gassmann	30.2×21.7
136		作品集『容易』より, スード	1935	modern print by P. Gassmann	21.7×28.1
137		祈り	1930	modern print	29.9×22.2
138		自殺	1930	modern print by P. Gassmann	22.0×29.8
139		アディと輪	1937	modern print by P. Gassmann	27.0×37.8
140		ニュッシュ・エリュアール		modern print by P. Gassmann	21.5×28.5

No.	作家名	作品名	制作年	素材,技法	寸法(cm)
141	マン・レイ	メレット・オッペンハイム	1930	modern print by P. Gassmann	37.8×27.7
142		ドラ・マール	1936	modern print by P. Gassmann	29.0×22.3
143		ナンシー・キューナード	ca.1926	modern print by P. Gassmann	29.1×21.2
144		リー・ミラー	1930	modern print by P. Gassmann	31.3×21.7
145		リー・ミラー, 横顔	ca.1930	modern print by P. Gassmann	30.8×22.7
146		ココ・シャネル	ca.1940	modern print by P. Gassmann	28.9×21.1
147		エルザ・スキャノバネリ	ca.1934	modern print by P. Gassmann	29.0×19.8
148		バプロ・ピカソ	ca.1932	vintage	23.0×17.5
149		キキ・ド・モンパルナス	1924-26	modern print by P. Gassmann	29.1×21.7
150		マリー・ローランサン		vintage	25.7×19.7
151		ガートルード・スタイン		modern print by P. Gassmann	29.1×22.9
152		バルベット	1926	modern print by P. Gassmann	29.0×22.2
153		アンドレ・ドラン	1923	modern print by P. Gassmann	28.0×29.8
154		フェルナン・レジェ	1922	modern print by P. Gassmann	28.5×22.3
155		ラウル・ド・ルシーとチェスをするマルセル・デュシャン	1924	modern print by P. Gassmann	21.0×29.3
156		ジャン・コクトーとトリスタン・ツアラ	ca.1922	modern print by P. Gassmann	28.2×19.5
157		キャバレー『ル・バラディ』, クリシー大通り	1924	modern print by P. Gassmann	21.0×28.2
158		覚めた夢の集会		modern print by P. Gassmann	20.4×28.1
159		アンドレ・ブルトン	ca.1930	modern print by P. Gassmann	29.0×21.7
160		自写像—自殺のテーマ		modern print by P. Gassmann	28.0×21.5
161		マックス・エルンスト	ca.1933	modern print by P. Gassmann	29.0×21.1
162		ジャック・リゴー	1935	modern print by P. Gassmann	30.1×22.8
163	ウィリー・ロニ	マルセイユ	1938	vintage	19.8×16.6
164		リュクサンブル公園	1939	vintage	19.4×18.9
165	エマニュエル・スジェ	麻薬中毒	1930	modern print by P. Gassmann	29.1×21.3
166		カーニヴァルの死	1930	modern print by P. Gassmann	38.0×29.0
167		作家, リュック・デイトリッシュ		vintage	34.8×25.5
168		サテンと羽	1933	modern print by P. Gassmann	39.0×28.5
169		ネガ・フィルム	ca.1928	modern print by P. Gassmann	38.7×27.2
170		十五のグラス	1933	modern print by P. Gassmann	39.0×28.5
171		いわし	1932	modern print by P. Gassmann	37.2×28.3
172		巻いた削り屑	1932	modern print by P. Gassmann	39.0×28.6

No.	作家名	作品名	制作年	素材,技法	寸法(cm)
173	エマニュエル・スジェ	積み重なるティー・クロス	1935	modern print by P. Gassmann	37.5×28.4
174	モーリス・タバール	『ジャルダン・デ・モード』	1937	modern print by P. Gassmann	29.7×23.8
175		題名不詳		modern print by P. Gassmann	30.7×22.4
176		広告(ソラリゼーション)	ca.1938	modern print by P. Gassmann	25.3×18.2
177		『ジャルダン・デ・モード』	1937	modern print by P. Gassmann	29.7×23.9
178		モード	1929-31	modern print by P. Gassmann	29.1×21.8
179		題名不詳		modern print by P. Gassmann	28.9×21.8
180		題名不詳		modern print by P. Gassmann	28.9×21.6
181		ギター・ソラリゼーション	ca.1933	modern print by P. Gassmann	29.6×23.2
182		コンポジション	1929	modern print by P. Gassmann	22.6×28.5
183		活字《ベニヨ社》	1931	modern print by P. Gassmann	28.9×21.8
184		コンポジション	1929	modern print by P. Gassmann	29.2×22.3
185		コンポジション(シュールアンプレッション)	1928	modern print by P. Gassmann	28.5×20.4
186		《アイ=シー》:マグリットに捧ぐ(シュールアンプレッション)	1938	modern print by P. Gassmann	28.9×27.5
187		コンポジション(シュールアンプレッション)	ca.1930	modern print by P. Gassmann	28.2×21.4
188	アルフレッド・ヴァレンテ	ルネ・クレール	ca.1930	vintage	33.1×25.2
189		アリスティード・マイヨール	ca.1930	vintage	33.3×27.2
190	ヴォルス	コンタクト・プリント		vintage	17.7×23.7
191		電球	1938	modern print supervised by Gréty Wols	24.7×24.6
192		題名不詳			25.6×17.6
193		陽気なボ=ボル...	1939	modern print supervised by Gréty Wols	30.6×21.7
194		ニコルの美しい足	1938	modern print supervised by Gréty Wols	29.9×23.0
195		美しい肉片	1939	modern print supervised by Gréty Wols	21.1×30.6
196		キャベツとぼろ布	1938	modern print supervised by Gréty Wols	22.6×30.2
197		題名不詳		modern print supervised by Gréty Wols	23.0×17.2
198		ハーモニカ, 兎, 櫛...笑えるコンポジション	1938	modern print supervised by Gréty Wols	23.2×17.5
199		アウシュヴィッツでナチに殺された女		modern print supervised by Gréty Wols	30.4×20.7

No.	作家名	作品名	制作年	素材, 技法	寸法 (cm)
200	ヴォルス	微笑むニナ・エンゲル, 草原にて(パリ近郊)	1939	modern print supervised by Gréty Wols	25.4×24.0
201		シフラン夫人とその息子 パリ	1937	modern print supervised by Gréty Wols	24.6×23.9
202		交叉したスカーフはすべてを覆っていない…パリ	1939	modern print supervised by Gréty Wols	25.7×23.5
203		美しき隣人	1939	modern print supervised by Gréty Wols	24.6×23.3
204		ジェルメーヌ・ドムール		modern print supervised by Gréty Wols	30.6×21.2
205		マネキンの体に付ける石膏の手(パリ万国博)	1937	modern print supervised by Gréty Wols	25.1×24.3
206		エレガンス館	1937	modern print supervised by Gréty Wols	24.1×22.6
207		海面の反映, カッシス港	1941	modern print supervised by Gréty Wols	21.7×30.4
208		雲…	1937	modern print supervised by Gréty Wols	23.2×29.2
209		エッフェル塔, パリ	1933	modern print supervised by Gréty Wols	30.2×20.1
210		階段の影と遠くの橋	1937	modern print supervised by Gréty Wols	30.7×22.5
211		セーヌ河岸の足場	1937	modern print supervised by Gréty Wols	22.5×29.4
212		美しく組み合わされた石…カッシス	1940	modern print supervised by Gréty Wols	24.6×23.1
213		帆立の貝殻の美	1938	modern print supervised by Gréty Wols	30.4×22.8
214		3つのきのこ		modern print supervised by Gréty Wols	30.8×22.7

目黒名〈画〉座 5本立一挙公開

磯部行久展／顰嘔展／堀浩哉展／パンリアル展／追悼 諏訪直樹展

会期：1991（平成3）年6月8日－7月14日

会場：展示室A・B・C，展示ロビー，ワークショップ，エントランスホール

主催：目黒区美術館

協賛：Heineken Beer／竹中工務店

協力：コバヤシ画廊／ギャラリー山口／SPACE 11／恩田孝充／本波 潔

担当学芸員：正木 基

美術館利用者も余り関心をもたず，美術館スタッフも気をいれにくい所蔵品展をいかにすれば活性化しうるかの試みとして開催した。具体的には，何故，所蔵品展には所蔵品以外の作品を組み込まないのかという疑問であり，1点の所蔵品をよりよく見せるのはいかに可能かということの模索であった。

磯部行久については全共連ビルから解体されマスコミで話題にされていた壁画作品を，作家や竹中工務店の協力で復元したが，これは当美術館所蔵の『WORK '65』の姉妹作と認識してのことである。また，堀浩哉はユーロパリア・ジャパン展への出品作を購入したのを契機に，その作品までの彼の軌跡を後付けてみたものである。顰嘔は当館所蔵の最初期の虹の作品を中心に同時期に制作された虹の作品だけで構成，当館がコレクションし始めていたパンリアル美術協会関係の作品も日本画の異素材が氾濫した1964年前後に限定して時代の熱気を再構成した。また諏訪直樹は所蔵作家ではないが，突然の死にあたり，ライフワーク『無限連鎖する絵画』全パーツを一挙に展示して哀悼の意を表したのには，美術館空間のフレキシブルな活用という意識がなくなかったと言えるだろう。

●カタログ

寸法：A4（5分冊袋入り）

デザイン：印象社（ポスター，チラシ共）

タイトルロゴ：山田勇男（ポスター，チラシ共）

展覧会1 蘇る〈建築モニュメント〉の行方

《磯部行久展－帰ってきた全共連ビル壁画》

ページ数：6頁

内容：磯部行久 全協連ビル壁画顛末（立花義彰）／図版／磯部行久略年譜

展覧会2 虹のラビリンズ

《顰嘔展－オール・オーバー・レインボー》

ページ数：6頁

内容：虹のAY-Oへ（杉村浩哉）／図版／顰嘔略年譜

展覧会3 越境する絵画

《堀浩哉展－〈日本の絵画〉の創出に向けて》

ページ数：6頁

内容：今日の日本の絵画へ－堀浩哉の企図するもの（正木基）／図版／堀浩哉略年譜

展覧会4 熱き時代の

《パンリアル展》

ページ数：8頁

内容：パンリアル美術協会（加藤貞雄）／図版／不動茂弥，下村良之介，野村 耕，三上 誠，星野真吾，湯田寛，木村嘉子略年譜

展覧会5 〈未完の絵画〉への行旅

《追悼・諏訪直樹展－無限連鎖する絵画》

ページ数：6頁

内容：無限連鎖（原田光）／図版／諏訪直樹略年譜

●ポスター

サイズ：B2

●チラシ

サイズ：B5

●主要関連記事

「消えた『1億円』壁画を復元」（無署名）朝日新聞 1991年6月8日

「帰って来た“美術家”磯部行久のこと」正木 基 公明新聞 1991年7月2日

「美術 絵画の無限性」（K）東京新聞 1991年7月5日

「美術 臨場感漂う『復活上映』－『目黒名〈画〉座』展」（三）朝日新聞 1991年7月5日

「目黒名〈画〉座の冒険」（無署名）毎日新聞 1991年7月10日

「以て瞑すべし 復元された磯部行久壁画作品の語りかけること」（武）新美術新聞 1991年7月11日

「目黒名〈画〉座 美術館が映画館に早変わり!? “観せ方”に成果示す収蔵品展」（ワシオ・トシヒコ）公明新聞 1991年7月13日



「追悼・諏訪直樹展」会場風景

目黒区美術展
'91
6月
8日
7月
14日
月曜休館
午前10時
午後6時

蘇る(建築モニュメント)の行方
磯辺行久展
帰ってきた全共連ビル壁画
虹のラビリンス
雲 AY-0 嘔 展
オール・オーバー・レインボー
越境する絵画

堀浩哉展
〈日本の絵画〉の創出に向けて
熱き時代の
パンリアル展
下村良之介・木村茂雄・三上真・榎野真吾・高田寛・野村耕・木村嘉子
〈未完の絵画〉への行旅
追悼・諏訪直樹展
無限連鎖する絵画

一般300円(250円) 高大生150円(100円) 小中生100円(50円) (1)内は20名以上の団体料金
TEL 3714 1201
目黒区美術館
協賛 = Heineken Beer 中工務店
JR徒歩
目黒10
駅分

B2ポスター

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	素材, 技法	寸法 (cm)	所蔵先
《磯辺行久展—帰ってきた全共連ビル壁画》						
1	磯辺行久	全国共済農協連合会ビルBF・1F壁画	1963	ミックスドメディア	600×566×50	
2		全国共済農協連合会ビルBF壁画	1963	ミックスドメディア	250×390×50 (各2面)	
3		壁面建築プラン(5点)	1963	アイソメ	各55.0×80.0	作家
4		壁面建築プラン	1963	紙, 鉛筆, フェルト		作家
5		Work '65	1965	ミックスドメディア	182.6×363.2×6.5	目黒区美術館
《嘔嘔展—オール・オーバー・レインボー》						
1	嘔嘔	虹のロボット	1967	油彩, ミックスドメディア	29.0×14.5×9.0	作家
2		虹のミケランジェロ	1967	油彩, ミックスドメディア	47.0×12.0×11.0	作家
3		虹の円盤投げ	1968	油彩, ミックスドメディア	45.5×28.5×15.2	作家
4		虹のヴィクトリー	1968	油彩, ミックスドメディア	38.5×21.5×23.0	作家
5		RAINBOW ENVIRONMENTALS	1964	油彩, キャンバス	177.0×522.0	目黒区美術館
6		RAINBOW LANDSCAPE	1964	油彩, キャンバス	171.8×179.8	作家
7		RAINBOW THERMOMETER(大)	制作年不明	油彩, ミックスドメディア	29.2×8.0×2.0	作家
8		RAINBOW THERMOMETER(小)	1964	油彩, ミックスドメディア	20.0×6.0×2.2	作家
9		ベニスの壁かけセット	1965	油彩, ミックスドメディア	2点	作家
10		虹の足(アームボックスの上の)	1968	油彩, ミックスドメディア	30.5×30.5×44.0	作家

No.	作家名	作品名	制作年	素材,技法	寸法(cm)	所蔵先
11	斐嘯	レインボーネステッド (5点1組)	1967	油彩,ミックスドメディア	15.1×15.1×15.1, 12.0×12.0×12.0, 8.9×8.9×8.9, 5.5×5.5×5.5, 2.7×2.7×2.7	作家
12		虹の乙女(フィンガー ボックスの上の)	1968	油彩,ミックスドメディア	101.0×30.8×29.6	作家
13		RAINBOW O'CLOCK	制作年不 明	油彩,ミックスドメディア	径36.0×8.0	作家
14		Venus of Milo	1966	油彩,ミックスドメディア	206×550×25	作家
15		Broken heart	1968	シルクスクリン(ed.30)	51.5×51.5×3.2	作家

No.	作家名	作品名	制作年	素材,技法	寸法(cm)	所蔵先
《堀浩哉展—日本の絵画の創出に向けて》						
1	堀 浩哉	エリゼの肖像へ No. 7	1980	アクリル,キャンバス,パネル	227.0×182.0	兵庫県立近代美術館
2		THREE PRIMARY COLORS - PRAC- TICE (3 books)	1975	紙,スクリーンインク	110.0×80.0	作家
3		無題	1977	綿布,スクリーンインク	240×320	作家
4		MEMORY - PRAC- TICE (DANCING- AFFAIR No.5)	1976	パフォーマンス・ドキュメント・ビデオ (AFFAIR & PRACTICE)		
5		水の肌へ 83-7	1983	アクリル,オイルスティック,岩絵具,キャン バス,パネル	227×162	作家
6		LINE-PRACTICE	1977	キャンバス,粉絵具	200.0×300.0	作家
7		波-18	1985	アクリル,オイルスティック,岩絵具,キャン バス	182.0×259.0	作家
8		風の物語へ	1984	アクリル,オイルスティック,岩絵具,キャン バス	240.0×540.0	作家
9		Jungle-3	1986	アクリル,オイルスティック,岩絵具,キャン バス	259.0×182.0	作家
10		風の声-14	1989	墨,アクリル,岩絵具,和紙,キャンバス	227.3×546.0	目黒区美術館
11		Jungle-16	1987	アクリル,オイルスティック,岩絵具,キャン バス	162.0×454.0	作家

No.	作家名	作品名	制作年	素材,技法	寸法(cm)	所蔵先
《パブリカル展》						
1	不動茂弥	楡生 3	1963	綿壁,セメント,和紙,金剛砂,川砂,顔 料,板	121.2×91.0	作家
2		庚神	1966	岩絵具,綿壁,コンクリート,和紙,麻紙, 朱,顔料,板	182.3×130.3	作家
3		黒い祭	1967	岩絵具,綿壁,コンクリート,麻紙,顔料,板	182.1×130.5	作家
4		焚刑	1962	綿壁,セメント,和紙,金剛砂,川砂,顔 料,板	162.3×112.5	作家
5		盗人神	1965	綿壁,セメント,和紙,金剛砂,川砂,顔 料,板	162.2×131.2	作家
6	下村良之介	鳥たちの壁 A	1964	紙粘土,顔料,紙,合板	181.0×545.0	目黒区美術館
7		鳥たちの壁 B	1964	紙粘土,顔料,紙,合板	182.0×268.8	作家
8	野村 耕	pagu	1964	ボード,紙型,カシュー,油彩	120.0×80.3	目黒区美術館
9		集	1964	ボード,紙型,カシュー,油彩	151.8×91.0	目黒区美術館
10	三上 誠	極	1959頃	木,縄,顔料	121.5×66.9	個人
11		作品 9	1962頃	段ボール,木,顔料	121.2×60.7	個人
12		作品	1964頃	木,顔料	151.6×151.3	目黒区美術館
13		無題	1968頃	紙,顔料	121.2×91.5	個人
14	星野真吾	喪中の作品(青)	1965	岩絵具,和紙	183.0×122.5	作家
15		喪中の作品	1964	岩絵具,箔,和紙	121.0×122.8	作家
16		喪中の作品(白)	1965	岩絵具,和紙	182.3×91.2	作家
17		喪中の作品(赤)	1965	岩絵具,和紙	182.6×91.1	作家

No.	作家名	作品名	制作年	素材,技法	寸法(cm)	所蔵先
18	湯田 寛	作品 1	1964頃	ミックスドメディア,板	28.0×28.0	個人
19		作品 2	1964頃	ミックスドメディア,板	35.0×35.0	個人
20		作品 3	1964頃	ミックスドメディア,板	26.0×30.0	個人
21		作品 4	1964頃	顔料,ミックスドメディア,キャンバス	30.0×30.0	個人
22	木村嘉子	作品 O	1963	油彩,キャンバス	139.0×80.0	作家
23		作品 L	1963	油彩,キャンバス	131.0×80.0	作家
24		作品 Y	1963	油彩,キャンバス	137.0×80.0	作家
25		作品 M	1963	油彩,キャンバス	137.0×75.0	作家
26	伊沢宏子	タイトル不詳	1964	水彩,クレヨン,紙	52.0×65.0	個人
27		タイトル不詳	1964	水彩,紙	66.5×48.0	個人

No.	作家名	作品名	制作年	素材,技法	寸法(cm)	所蔵先
《追悼・諏訪直樹展—無限連鎖する絵画》						
1	諏訪直樹	無限連鎖する絵画 PART 1	1988	アクリル,キャンバス	180×1440	個人
2		無限連鎖する絵画 PART 2	1989	アクリル,キャンバス	180×2230	個人
3		無限連鎖する絵画 PART 3	1990	アクリル,キャンバス	180×2100	個人

“カーボグ” デザインストーリーとカロッツェリアのすべて展 山崎亮志のランボルギーニ・ソニア

会期：1991（平成3）年7月27日－9月1日

会場：展示室A・B・C，展示ロビー，ワークショップ，エントランスホール

主催：目黒区美術館／目黒区教育委員会

後援：在日イタリア大使館

協賛：パイオニア(株)／アリタリア航空カーゴシステム／スタンレー電気(株)／コニカ(株)

協力：(株)アートアンドテック

担当学芸員：矢内みどり，家村珠代

デザイナー山崎亮志(1948年，兵庫県生まれ)は，1990年，イタリアのトリノに自らのカロッツェリア(自動車デザイン・設計工房)を設立。ランボルギーニ社よりエンジンとシャーシの提供を受け，スーパーアドヴァンストカー「ソニア」の一点製作を行った。ソニアとはイタリア語で「夢」というような意味。彼は人と車が一体化し，ひとつの生き物のような存在になることを予測し，カーとサイボグからの造語「カーボグ」という言葉を生み出すなど，有機的な生き物として車を捉らえている。

こうしたコンセプトから生まれたアイデアスケッチ120点，完成予想図ともいえるレンダリングパネル50点，またこれからおこした1/5や1/1設計図により，発想の原点から形が出来上がっていくまでのデザインストーリーを展示した。さらにこの設計図から1/1モデルの製作工程が分るような1/5石膏プラスターモデル，完成した1/1石膏プラスターモデル(同年ジュネーブオートショウに展示されたもの)，手製の道具の展示などのほか，モデラーによるデモンストレーションをおこない，カロッツェリアの全貌を紹介した。

●カタログ

寸法：A3

ページ数：32頁

デザイン：矢萩喜徒郎

内容：ごあいさつ(加藤貞雄)／メッセージ(駐日イタリア大使)／イメージクリエイターと“カーボグ”時代の始まり(山崎亮志)／カロッツェリアとは／図版

●ポストカード サイズ：B1，B3／デザイン：矢萩喜徒郎

●チラシ サイズ：B5

●鑑賞用てびき サイズ：A4

●主要関連記事

「カーボグ時代の幕開け」 デザインの現場 1991年8月号



会場風景



B2ポスター

主要出品目録

No.	作品名
1	ソニア1/1石膏ブラスターモデル(ショウカー)
2	イメージスケッチ 発想 コンセプト
3	イメージスケッチ 発想 ラインから
4	イメージスケッチ 発想 平行四辺形より
5	イメージスケッチ 発想 流れから
6	イメージスケッチ 発想 円盤から
7	イメージスケッチ 発想 動物のフォルムから
8	イメージスケッチ ソニア ボディー上下 2分割 その1
9	イメージスケッチ ソニア ボディー上下 2分割 その2
10	イメージスケッチ ソニア ボディー上下 2分割 その3
11	イメージスケッチ ソニア ボディー上下 2分割 その4
12	イメージスケッチ ソニア ボディー上下 2分割 サイドフォルムの追求
13	イメージスケッチ ソニア ボディー上下 2分割 トンネルシリーズ
14	イメージスケッチ ソニア ボディー上下 2分割 バリエーション
15	イメージスケッチ ソニア ボディー上下 2分割 派生 その3
16	イメージスケッチ ソニア ボディー上下 2分割 ドア開閉システム
17	イメージスケッチ ソニア ボディー上下 2分割の派生 その1
18	イメージスケッチ ソニア ボディー上下 2分割の派生 その2
19	イメージスケッチ ソニア以外のスポーツカー その1
20	イメージスケッチ ソニア以外のスポーツカー その2
21	イメージスケッチ ソニア以外のスポーツカー その3
22	イメージスケッチ ソニア以外のスポーツカー その4
23	イメージスケッチ ソニア以外のスポーツカー その5
24	イメージスケッチ ソニア以外のスポーツカー その6
25	イメージスケッチ タイヤハウスが張り出したデザイン
26	レンダリングパネル ソニア ボディー上下 2分割 その1
27	レンダリングパネル ソニア
28	レンダリングパネル ソニア
29	レンダリングパネル ソニア
30	レンダリングパネル ソニア
31	レンダリングパネル ソニア
32	レンダリングパネル ソニア ボディー上下 2分割 その1
33	レンダリングパネル ソニア ボディー上下 2分割 その2
34	レンダリングパネル ソニア ボディー上下 2分割の派生
35	レンダリングパネルウェッジシェープの追求
36	レンダリングパネル タイヤハウスが張り出したデザイン その2
37	レンダリングパネル タイヤハウスが張り出したデザイン その1
38	レンダリングパネル 未来的なデザイン
39	レンダリングパネル 現実的なデザイン その1
40	レンダリングパネル 現実的なデザイン その2
41	レンダリングパネル 参考
42	レンダリングパネル 参考
43	ソニア1/5モデルの設計図
44	ソニア1/5モデルの設計図
45	ソニア1/5モデルの設計図
46	ソニアにいたる1/5FRP(ガラス繊維強化プラスチック)モデル
47	ソニアにいたる1/5FRP(ガラス繊維強化プラスチック)モデル
48	ソニアにいたる1/5FRP(ガラス繊維強化プラスチック)モデル
49	ソニア1/5FRP(ガラス繊維強化プラスチック)モデル
50	ソニア1/1図面
51	ソニア1/1図面
52	ソニア1/1図面(部分)

美術史探索学・終刊号

荒井龍男展—叙情的抽象の造形

会期：1991（平成3）年9月7日－10月4日

会場：展示室A

主催：目黒区美術館

後援：美術出版社

担当学芸員：正木 基，家村珠代

同時開催：ワークショップ・手と目の冒険広場「水のアラベスク」

目黒区美術館が開館時より開催してきた《美術史探索学》シリーズの最終回である。近年、戦前の美術史の見直しや掘り起こしが進み、自由美術家協会などの抽象絵画の再評価がしきりとなされているなかで、荒井龍男は幾つかの美術館に所蔵されている僅かな作品しか知られておらず、その全貌が知られていなかった。荒井は自由美術家協会に所属する前の朝鮮時代、滞仏時代に既に自己の具象絵画のスタイルを作り上げていたが、戦中から戦前にかけて徐々に叙情的な半具象作品から抽象作品へとスタイルを変貌させた。最後には色彩のアラベスクともいべき抽象絵画でアメリカ、フランス、ブラジルにおいて道場破りの活路を求めることになるが、その矢先に51歳の若さでなくなっている。本展では、その軌跡を約70点の作品と12点の作品パネルとで紹介、日本の抽象美術への貢献を世に問うた。

なお、本展にあわせて美術出版社より目黒区美術館編集になる『荒井龍男作品集』も上梓された。

●カタログ

寸法：B5

ページ数：32頁

デザイン：印象社（ポスター、チラシ共通）

タイトルロゴ：山田勇男（ポスター、チラシ共通）

内容：ごあいさつ（加藤貞雄）／ノート：自由美術家協会時代の荒井龍男（正木 基）／図版／略年譜／作品リスト

●ポスター サイズ：B2

●チラシ サイズ：B5

●主要関連記事

「荒井龍男展 そのすべてが芸術家だった人」 村井正誠
月刊美術 1991年9月号

「文化往来 抽象画の草分け、荒井龍男再評価へ」 日本経済新聞 1991年9月

「時代を模索する〈抽象〉 荒井龍男展」 尾崎真人 赤旗
1991年10月1日

「アートヴォーグ 探し出された荒井龍男の絵画」 (T)
みづゑ 1991年冬号



B2ポスター



会場風景

出品目録

No.	作品名	制作年	素材,技法	寸法(cm)	所蔵先
1	座像(本を読む女)	1933	油彩,キャンバス	80.0×100.0	大分県立芸術会館
2	於巴里(在る風景)	1934	油彩,キャンバス	60.6×50.0	個人
3	プラス・サンミシェル	1935	油彩,キャンバス	60.5×50.0	目黒区美術館
4	フローレンス	1934-35	油彩,キャンバス	53.5×80.5	
5	ギターをひく人	1935頃	油彩,キャンバス	100.0×80.0	大分県立芸術会館
6	老いたるブルターニュ人	1935頃	油彩,キャンバス	100.0×80.0	大分県立芸術会館
7	森の部分	1935頃	油彩,キャンバス	79.5×99.0	東京国立近代美術館
8	静寂	1934-36	油彩,キャンバス	73.0×100.0	個人
9	裸婦	1934-36	油彩,ボード	22.7×15.6	目黒区美術館
10	花生けに倚る蒼頭の男	1934-36	油彩,キャンバス	80.0×99.2	個人
11	ハシレ小馬(メリーゴウランド)	1934-36	油彩,キャンバス	80.0×100.0	個人
12	合奏	1934-36	油彩,キャンバス	80.5×100.0	個人
13	La loterie foraine	1934-36	油彩,キャンバス	80.6×100.0	個人
14	ザッキンのアトリエ	1934-36	油彩,キャンバス	99.7×80.3	個人
15	すうぶにいる	1934-36	油彩,キャンバス	100.0×80.3	個人
16	ひまわり・小鳥・婦人	1937頃	油彩,砂,キャンバス	109.0×144.0	個人
17	白い掌	1937頃	油彩,キャンバス	99.8×80.4	個人
18	體	1937頃	油彩,キャンバス	91.0×65.5	個人
19	過失に於ける歡喜への頌歌	1937	油彩,キャンバス	144.0×87.5	個人
20	彩色サレタル歌	1938頃	油彩,ボード	32.5×22.5	目黒区美術館
21	むうんらいとそなた	1939	油彩,キャンバス	53.0×80.3	個人
22	太陽のある風景(八月)	1939	油彩,キャンバス	59.0×71.5	大分県立芸術会館
23	霞野或ハ野想(夾竹桃)	1940	油彩,キャンバス	119.5×144.0	個人
24	幻想の海(摩周湖)	1941	油彩,キャンバス	112.4×146.3	個人
25	山脈	1942	油彩,キャンバス	89.5×145.5	個人
26	椿	不明	油彩,キャンバス	97.2×146.0	福岡市美術館
27	落椿	不明	油彩,キャンバス	80.3×100.3	個人
28	尼僧舞	1943	油彩,キャンバス	100.2×80.2	個人
29	湖(少女)	1943	油彩,キャンバス	44.8×27.2	個人
30	楽士	1944	油彩,キャンバス	78.0×100.0	大分県立芸術会館
31	興国	1944	油彩,キャンバス	53.2×65.2	
32	海に出たいと思う日(1)	不明	油彩,キャンバス	73.0×99.6	個人
33	海に出たいと思う日(2)	不明	油彩,キャンバス	72.5×99.2	個人
34	緋毛氈	1947	油彩,キャンバス	27.3×35.0	板橋区立美術館
35	羽根を干す白鷺	1947	油彩,キャンバス	45.5×37.9	
36	二つの體	1948	油彩,キャンバス	91.0×72.8	大分県立芸術会館
37	Figure(哀愁の家族)	1948	油彩,キャンバス	45.0×53.0	個人
38	さんま	1948	油彩,キャンバス	23.9×33.2	
39	アトリエ	1949	油彩,キャンバス	99.5×80.0	東京国立近代美術館
40	凍れる夜	1949	油彩,キャンバス	80.5×100.1	個人
41	鏡	1949	油彩,キャンバス	53.0×65.1	個人
42	人魚群像	1949	油彩,キャンバス	109.3×141.0	個人
43	太陽と犬(ワン)	1950	油彩,キャンバス	64.0×52.0	大分県立芸術会館
44	夜色	1950	油彩,キャンバス	79.9×100.0	個人
45	新宿御苑	1950頃	油彩,キャンバス	34.0×72.5	東京都美術館
46	風と婦	1951	油彩,キャンバス	53.3×45.0	個人
47	あべまりあ	1951	油彩,キャンバス	46.0×37.7	個人
48	紫の中	1951	油彩,キャンバス	195.5×140.5	大分県立芸術会館
49	青い午前	1952	油彩,キャンバス	80.0×90.7	個人
50	七夕	1952	油彩,キャンバス	99.0×88.0	神奈川県立近代美術館
51	Buddha(佛陀)	1952	油彩,キャンバス	53.3×45.7	個人
52	Harmony in July	1954	油彩,ボード	82.5×124.0	大分県立芸術会館
53	Moon-light Sonata	1954	油彩,ボード	125.0×82.5	大分県立芸術会館

No.	作品名	制作年	素材,技法	寸法(cm)	所蔵先
54	パンチュール K	1954	油彩,キャンバス	55.2×46.3	個人
55	パンチュール F	1954	油彩,キャンバス	46.5×55.0	個人
56	パンチュール H	1954	油彩,キャンバス	30.6×61.2	個人
57	ガラスの中の市府	1954	油彩,キャンバス	30.6×61.0	大分県立芸術会館
58	天に昇りたい	1954	油彩,キャンバス	30.5×61.5	大分県立芸術会館
59	水昌宮	1954	油彩,キャンバス	30.3×61.4	個人
60	地下都市(0地大都市)	1954	油彩,キャンバス	55.3×46.4	個人
61	Xのある風景(サンパウロ四百年祭)	1954	油彩,キャンバス	46.2×55.1	個人
62	リオ・デ・ジャネイロ	1954	油彩,キャンバス	46.0×55.7	個人
63	晝の假説	1954	油彩,エナメル,キャンバス	46.3×55.3	個人
64	白と黒の假説	1954	油彩,キャンバス	55.7×45.7	個人
65	朱の中の朱(イビラプエラ)	1954	油彩,キャンバス	45.8×53.0	個人
66	朱の中の朱	1955	油彩,ハードボード	82.5×124.0	東京国立近代美術館
67	タイトル不詳	1950	油彩,グワッシュ,紙	26.8×22.0	個人
68	脱走するイヴ	1953	油彩,グワッシュ,紙	24.2×33.1	個人
69	アダムとイヴ	1954	油彩,グワッシュ,紙	33.0×24.1	個人

ワークショップ・手と目の冒険広場

水のアラベスク

会期：1991（平成3）年9月7日-10月4日

会場：展示室B・C，展示ロビー，ワークショップ，エントランスホール

主催：目黒区美術館

担当学芸員：降旗千賀子，山田敦雄

ワークショップ・アシスタント：榎本寿紀

同時開催：荒井龍男展

様相をとどめることなく、絶えず流動しつづける水。生命にはかかすことのできない物質としての水は、一方では驚異の対象となり、また一方では、光や風をうけることで視覚的にも精神的なやすらぎを呈してくれる。その一瞬をとらえ表現された作品からは、水を深くみつめ、そこに見いだされた作家の宇宙感を感じることが出来る。水を視覚的に知覚すること、それを表現することの間を行き来する心理をさぐるため、水滴（しずくの表情）、水面（光と風によるゆらぎ）、水の流れの3つのパートにわけ、絵画や彫刻、工芸などの作品を展示した。この展示と並行して、水をめぐるおとなとこどものためのワークショップを開催、公開した。

●カタログ

寸法：33.0×22.0cm

ページ数：48頁

デザイン：原田城次(ギャガ・コミュニケーションズ)

内容：ごあいさつ(加藤貞雄)/水にやどるまなざし(降旗千賀子)/絵画の水ーはだざわりと型(山田敦雄)/図版：水滴(しずくの表情)、水面(光と風によるゆらぎ)、水の流れ/作品リスト/作家略歴/「水のアラベスク」体験講座

●ポスター サイズ：B3/デザイン：大石一義

●チラシ サイズ：B5/デザイン：大石一義

●こどもパンフレット サイズ：37.2×19.5cm(三折)/デザイン：原田城次

●主要関連記事

「芸術を楽しむ」毎日新聞 1991年9月16日

「『水のアラベスクー目黒区美術館』 街の中でみつけた音-32」吉村弘 市政 11'91 vol.40

「水のフーガ『拡散する視覚』」中島芳郎 Art '91 No. 136 1991年10月

「『噴水の樹をつくる〈上〉〈下〉』目黒区美術館・ワークショップ」毎日小学生新聞 1991年10月3日，4日



B3ポスター



会場風景

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	素材,技法	寸法(cm)	所蔵先
●水滴(しずくの表情)						
1	M.C.エッシャー	露滴	1948	メゾチント,紙	18.0×24.5	
2	金 昌烈	水滴	1979	油彩,キャンバス	181.5×227.0	東京都美術館
3	小松富士子	The Sky No One Saw— 樹々の物語	1988	アクリル,キャン バス	194.0×145.5	
4	徳岡神泉	蓮	1922頃	絹本着色	62.0×85.0	東京国立近代美術館
5	原田正路	水滴	1980-86	写真(オリジナル プリント)	32.8×32.5	
6		水滴	1980-86	写真(オリジナル プリント)	32.8×32.5	
7		水滴	1980-86	写真(オリジナル プリント)	32.8×32.5	
8		水滴	1980-86	写真(オリジナル プリント)	32.8×32.5	
9		水滴	1980-86	写真(オリジナル プリント)	32.8×32.5	
10	デイヴィッド・ホックニー	プールに注がれる水・サン タモニカ	1964	リトグラフ,紙	47.7×62.2	
11		雨	1973	リトグラフ,紙	99.5×80.5	
12	三嶋典東	RAIN TRAIN	1983	イラストレーショ ン,墨インク,ペ ン,紙	59.3×44.2	
13		RAIN TRAIN	1983	イラストレーショ ン,墨インク,ペ ン,紙	59.3×44.2	
14		RAIN TRAIN	1983	イラストレーショ ン,墨インク,ペ ン,紙	59.3×44.2	
15		RAIN TRAIN	1983	イラストレーショ ン,墨インク,ペ ン,紙	59.3×44.2	
16		RAIN TRAIN	1983	イラストレーショ ン,墨インク,ペ ン,紙	59.3×44.2	
●水面(光と風によるゆらぎ)						
17	伊砂利彦	流れ	1970	型染,絹(着物)	170.0×67.0	
18	上田 薫	コップの水	1974	油彩,キャンバス	162.0×130.0	東京都美術館
19	M.C.エッシャー	水面の波紋	1950	リノカット,紙	26.0×32.0	横浜美術館
20		水溜り	1952	木版,紙	24.0×32.0	いわき市立美術館
21		三つの世界	1955	リトグラフ,紙	36.2×24.5	いわき市立美術館
22	大下藤次郎	シドニー南端	1898	水彩,紙	19.3×32.0	
23		メルボルン港	1898	水彩,紙	20.2×31.2	
24		赤道直下にて	1898	水彩,紙	19.5×32.0	
25		多摩川畔	1907	水彩,紙	48.8×69.7	
26		猪苗代	1907	水彩,紙	66.7×48.2	
27	佐野猛夫	潮の譜	1976	ろうけつ,布(屏 風二曲一隻)	160.0×158.0	京都府京都文化博物館
28	福岡道雄	石を投げる	1976	FRP樹脂,木	54.5×92×48	国立国際美術館
29		北風	1977	FRP樹脂,木	70.8×45×55	国立国際美術館
30		唐津の海岸	1982	FRP樹脂,木	47×183.5× 19.8	世田谷区立世田谷美術館
31	デイヴィッド・ホックニー	線で描かれたリトグラフの 水	1978-80	リトグラフ,紙	74.0×86.0	いわき市立美術館
32		線とクレヨンと二色の薄い ブルーの染料で描かれた リトグラフの水	1978-80	リトグラフ,紙	74.0×86.0	いわき市立美術館
33	吉田 博	帆船・朝	1926	木版,紙	50.8×36.1	

No.	作家名	作品名	制作年	素材,技法	寸法(cm)	所蔵先
34	吉田 博	帆船・午前	1926	木版,紙	50.8×36.1	
35		帆船・午後	1926	木版,紙	50.8×36.1	
36		帆船・霧	1926	木版,紙	50.8×36.1	
37		帆船・夕	1926	木版,紙	50.8×36.1	
38		帆船・夜	1926	木版,紙	50.8×36.1	
39	吉村 弘	ミ/ズ/ナ/リ	1991	水,アクリル,ス ピーカー	77×90×80	
●水の流れ						
40	伊砂利彦	河津七滝	1973	型染,和紙(パネ ル)	149.0×70.0	
41		河津七滝	1973	型染,和紙(パネ ル)	149.0×70.0	
42		河津七滝	1973	型染,和紙(パネ ル)	149.0×70.0	
43		河津七滝	1973	型染,和紙(パネ ル)	149.0×70.0	
44		河津七滝	1973	型染,和紙(パネ ル)	149.0×70.0	
45		河津七滝	1973	型染,和紙(パネ ル)	149.0×70.0	
46	門坂 流	磯	1978	ドローイング,墨 汁,ペン,紙	18.0×25.8	
47		荒波	1984	ドローイング,墨 汁,ペン,紙	25.2×33.2	
48		水源の滝	1985	ドローイング,墨 汁,ペン,紙	25.2×16.8	
49		大波	1985	ドローイング,墨 汁,ペン,紙	21.6×28.7	
50		大滝	1987	ドローイング,墨 汁,ペン,紙	30.2×20.2	
51	嶋 剛	無題 C	1981	アクリル,キャン バス	218.2×333.3	東京都美術館
52	前田寛治	海	1929	油彩,キャンバス	181.0×273.0	タイ王国大使館
53	八柳尚樹	時間	1988	水,アクリル,モ ーター	100×350×5	
54		水のありか	1988	水,アクリル,モ ーター	86×90×90	
55		波のテーブル	1989	水,アクリル,モ ーター	61×52×105	
56		パースペクティブ	1991	水,油,アクリル, ポンプ	70×70×70	
57	吉田 博	溪流	1928	木版,紙	54.5×82.8	
58	吉村 弘	サウンド・チューブ	1988	水,ブリキ	径10.0×40.0	
59		イメージスコア	1982			

新世界への架け橋を夢見た美術家たち ドイツ表現主義 ブリュッケ展

会期：1991(平成3)年10月19日-12月8日

会場：展示室A・B・C, 展示ロビー, ワークショップ, エントランスホール

主催：目黒区美術館/毎日新聞社

後援：ドイツ連邦共和国大使館/外務省/文化庁

協力：ベルリン・ブリュッケ美術館/ルフトハンザ・ドイツ航空会社

担当学芸員：矢内みどり, 家村珠代

巡回スケジュール：1992年2月9日-3月22日 栃木県立美術館

4月4日-5月10日 神奈川県立近代美術館

5月23日-6月28日 伊丹市立美術館

ブリュッケは、1905年ドレスデンにおいて工科大学の建築科の学生であったキルヒナー、シュミット=ロットルフ、ヘッケルらによって創立された美術家集団である。「ブリュッケ」(「橋」の意)の名は、この新しい芸術運動が新世界への「架け橋」となるようにと命名されたという。この運動は、一時期ノルデの参加もあり隆盛をみたが、1913年ベルリンにおいて発行を計画していた機関誌をめぐる意見が対立し、解散に至った。ブリュッケは、いわゆる自然主義、印象派、あるいはアカデミズムに対して反動し、主観的解釈、精神的表現の可能性を追求した。そしてヴァン・ゴッホやムンクなどの影響を受けながらも、独自の芸術をつくり上げ、今世紀初頭のドイツ美術において重要な革新的役割を果たした。また、同時代以降の各国の美術家たちに刺激を与えたのはいうまでもない。

本展では、人物、自然、風景、都市など身近な主題を激しい筆致、鮮やかな色彩により描いた8作家による油彩、水彩、素描、版画など114点をベルリンのブリュッケ美術館の所蔵作品の日本初公開として展覧した。同美術館は、シュミット=ロットルフの寄贈をもとに1967年に開館し、ヘッケル夫人の寄贈などを加えた充実したコレクションを形成している。日本において本格的なブリュッケ作品が一堂に会する貴重な機会となったことは大きな意義があった。

●カタログ

寸法：29.0×22.5cm

ページ数：168頁

内容：ごあいさつ(主催者)/ごあいさつ(ドイツ連邦共和国大使 ヴィルヘルム・ハース)/ブリュッケ美術館について(マグダレーナ・M.メラー)/「芸術家集団ブリュッケ」(マグダレーナ・M.メラー)/生活と芸術の統一「ブリュッケ」の絵画(マグダレーナ・M.メラー)/図版/ブリュッケとドレスデン、ベルリン(平井正)/ヴァリエテ・キャバレー・表現主義(田辺秀樹)/ベルリン、そして東京の表現主義—影響として、兆候として(水沢勉)/表現主義と20世紀末(山本和弘)/出品リスト/作家略歴/日本語主要文献(堀元彰編)/欧文主要文献

●ポスター

サイズ：B1, B3/デザイン：矢萩喜従郎

●チラシ サイズ：A4

●鑑賞用てびき サイズ：21.0×21.0cm ページ数：8

頁



B1ポスター

●主要関連記事

「泥絵具による“土俗的”裸婦像」 生田 誠 産経新聞
 1991年11月1日
 「ドイツ表現主義 ブリュッケ展から 上中下」 矢内みどり 毎日新聞 1991年11月26日-28日
 「ブリュッケ CHAPTER2 ドイツ表現主義—ブリュッケ現代美術は、20世紀とともに始まった」 サン・ロク・マル 1991年12月
 「ちょっと寄り道美術館 世界の見方」 池内紀 一枚の繪 1992年2月



会場風景

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	素材,技法	寸法(cm)
●油彩					
1	エルンスト・ルートヴィヒ・キルヒナー	アトリエのヘッケルとモデル	1905	油彩,厚紙	50.0×33.6
2		鏡の前に横たわる裸婦	1909/ 10	油彩,キャンバス	83.3×95.5
3		鏡と紳士と後ろ姿の裸婦	1912	油彩,キャンバス	150.0×75.5
4		チェスをするエーリヒ・ヘッケルとオットー・ミュラー	1913	油彩,キャンバス	35.5×40.3
5		パイプを吸うオットー・ミュラー	1913	油彩,キャンバス	60.0×50.6
6		髪をとかす裸婦	1913	油彩,キャンバス	125.0×90.0
7		カフェの庭にて	1914	油彩,キャンバス	70.5×76.0
8		自画像	1914	油彩,キャンバス	65.0×47.0
9		エドヴィーン・レーツロープの肖像	1924	油彩,キャンバス	121.0×75.5
10		アトリエのマックス・リーバーマン	1926	油彩,キャンバス	80.0×70.0
11	カール・シュミット=ロットルフ	エルツ山地の村	1905	油彩,キャンバス	43.0×70.0
12		ブライセ川にて	1906	油彩,厚紙	60.0×72.0
13		堤防決壊	1910	油彩,キャンバス	76.0×84.0
14		ローザ・シャビーレの肖像	1911	油彩,キャンバス	84.0×76.0
15		赤い切妻屋根	1911	油彩,キャンバス	75.0×70.0
16		身繕いをする少女	1912	油彩,キャンバス	84.0×76.0
17		思いに耽ける女	1912	油彩,キャンバス	102.0×76.0
18		ワイン酒場	1913	油彩,キャンバス	76.0×84.0
19		砂丘の裸婦	1913	油彩,キャンバス	73.0×65.0
20		青い月	1920	油彩,キャンバス	75.5×89.0
21		家をつくる大工たち	1922	油彩,キャンバス	112.0×98.0
22		漁師たちの日曜日	1923	油彩,キャンバス	104.0×124.0
23		ハドリアヌス帝のヴィラ	1930	油彩,キャンバス	97.0×112.0
24		ローマ風の静物	1930	油彩,キャンバス	87.0×101.0
25		仮面	1938	油彩,キャンバス	73.0×65.0
26		小部屋	1939	油彩,キャンバス	176.0×112.0
27		封鎖された静物	1948	油彩,キャンバス	73.0×65.0
28		真鍮製の湯沸し	1950	油彩,キャンバス	66.0×72.0
29	エーリヒ・ヘッケル	焼け跡	1904	油彩,厚紙	45.0×70.0
30		若い男, 自画像	1906	油彩,厚紙	47.5×36.0
31		座る少年	1906	油彩,キャンバス	70.0×64.0
32		湿地(ダンガスト)	1907	油彩,キャンバス	48.0×77.0
33		死んだ鶏	1908	油彩,キャンバス	60.0×60.0
34		ローマ風の静物	1909	油彩,キャンバス	70.0×49.9
35		若い男と少女	1909	油彩,キャンバス	70.5×80.4
36		貯水塔	1910	油彩,キャンバス	50.0×54.0

No.	作家名	作品名	制作年	素材,技法	寸法(cm)
37	エーリヒ・ヘッケル	リュートを奏でる少女	1913	油彩,キャンバス	72.0×79.0
38		メリングブルクのアルスター川の水門	1913	油彩,キャンバス	95.0×80.0
39		フランスブルクのオルフ・サムソンスガング	1913	油彩,キャンバス	68.0×79.0
40		煉瓦職人	1913	油彩,キャンバス	80.0×70.0
41		北海	1916	油彩,キャンバス	83.0×96.0
42		狂える兵士	1916	テンペラ,キャンバス	51.0×41.0
43		ロクヴァイロール	1917	テンペラ,キャンバス	92.0×72.0
44		チュービンゲン	1920	油彩,キャンバス	80.0×70.0
45		海辺の岩	1926	油彩,キャンバス	83.0×96.0
46		オットー・ミュラーの肖像	1930	テンペラ,キャンバス	80.0×70.0
47		エルツ山地の雪解け	1931	テンペラ,ボード	75.5×80.0
48		イカットのある静物	1949	テンペラ,ボード	64.0×85.0
49		淡紅色の壁を背景に	1953	テンペラ,キャンバス	87.0×70.0
50		花咲く灌木	1955	テンペラ,キャンバス	80.0×70.0
51		氷河の湖	1960	油彩,キャンバス	96.0×120.0
52	マックス・ベヒシュタイン	ドレスデンのエリアス墓地	1906	油彩,キャンバス	44.0×61.0
53		モーリッツブルクの森にて	1909	油彩,キャンバス	68.0×78.0
54		黄色と黒のトリコット	1909	油彩,キャンバス	68.0×78.0
55		踊り	1909	油彩,キャンバス	95.0×120.0
56		漁船	1913	油彩,キャンバス	190.0×96.0
57		室内の若い男	1917	油彩,キャンバス	81.2×71.3
58		出来たばかりの家	1919	油彩,キャンバス	100.0×80.0
59		イタリアの石運び人夫	1925	油彩,キャンバス	80.0×101.0
60	クローノ・アミエ	花のある静物	1908	油彩,キャンバス	40.0×32.0
61		昼の休憩	1910	油彩,キャンバス	59.0×72.0
62	フランツ・ネルケン	庭の眺め	1912/ 13	油彩,キャンバス	54.0×50.0
63	エミール・ノルデ	白い樹幹	1908	油彩,キャンバス	67.5×77.5
64		アルゼン島の漁師の家	1909	油彩,キャンバス	73.0×91.0
65		囁り	1909	油彩,キャンバス	86.0×106.0
66		フリーゼンの家並み I	1910	油彩,キャンバス	64.0×84.0
67		休暇の客人たち	1911	油彩,キャンバス	87.0×101.0
68		異国の彫像	1912	油彩,キャンバス	70.0×57.0
69		シーフラー氏	1915	油彩,キャンバス	82.5×73.5
70	オットー・ミュラー	ボートの女	1910	泥絵具,キャンバス	96.0×70.0
71		庭の石塀のあいだの恋人たち	1916	泥絵具,ジュート	66.0×90.0
72		水浴する二人の少女	1921	泥絵具,キャンバス	100.0×140.0
73		風景のなかの三人の裸婦	1922	泥絵具,ジュート	119.5×88.5
●水彩・素描					
74	エルンスト・ルートヴィヒ・キルヒナー	水浴する二人の少女	1909	水彩,鉛筆,紙	33.0×25.6
75		ドレスデン・レープタウ駅への引き込み線	1910/ 11	鉛筆,紙	32.5×42.0
76		室内 I	1911	鉛筆,紙	33.8×27.0
77		座っているヌードの少女	1912/ 13	木炭,紙	68.0×48.0
78		横たわる裸婦	1913/ 14	色鉛筆,紙	30.0×41.0
79		ボート・グレーフの肖像	1914	鉛筆,紙	48.0×30.0
80		座っている裸婦	1916頃	インク,黄色の紙	20.0×16.0
81	カール・シュミット=ロットルフ	真昼の公園	1909	水彩,紙	49.5×66.3

No.	作家名	作品名	制作年	素材,技法	寸法(cm)
82	カール・シュミット=ロットルフ	工場	1909	水彩,紙	48.0×66.0
83		座っている二人の少女	1911	色チョーク,紙	42.9×32.8
84		仰向けに横たわる裸婦	1912	木炭,茶色の紙	33.5×42.7
85		ひざまづく裸婦	1913	葎ペン,紙	59.5×48.0
86	エーリヒ・ヘッケル	体を洗う女	1912	水彩,鉛筆,紙	42.7×33.2
87		朗読	1913/ 14	水彩,鉛筆,紙	45.4×37.3
88	マックス・ペヒシュタイン	立っている後ろ姿の裸婦	1909	色チョーク,木炭,グワッシュ,茶色の紙,厚紙に貼りつけ	55.0×31.5
89		横たわる裸婦と猫	1909	グワッシュ,チョーク,紙	34.5×45.5
90		岸辺にて	1910	水彩,木炭,紙	34.8×45.0
91		サーカス	1911	水彩,鉛筆,木炭,紙	16.0×20.8
92	オットー・ミュラー	湖畔の風景	1914	色チョーク,水彩,黄土色の紙	50.5×69.5
93		立っている裸婦	1921	色チョーク	69.0×50.5
94		森のなかの立っている二人の裸婦	1923	水彩,色チョーク	68.5×52.0
95		馬車の前のジブシーの家族	1926	色チョーク	60.0×44.0
●版画					
96	エルンスト・ルートヴィヒ・キルヒナー	自画像	1906	木版	18.7×8.0
97		静物	1907	木版(三色)	20.1×16.8
98		鉄製ストーブの前で入浴する女	1909	銅版	20.0×19.5
99		聖グレオン教会(ケルンの旧教会)	1914	銅版	24.5×19.8
100		遊ぶこどもたち	1914	銅版	20.2×25.3
101	カール・シュミット=ロットルフ	ダンガスト	1909	木版	23.2×36.5
102		絨毯に横たわる裸婦	1911	多色石版	33.5×40.0
103		入江	1913	木版(三色)	28.0×33.0
104		テーブルを囲む三人の女	1914	木版	50.0×40.0
105	エーリヒ・ヘッケル	ダンガストの沼にて	1908	木版(二色)	18.5×23.5
106		踊る女	1910	木版	12.0×20.5
107		砂丘にて	1911	石版	27.5×32.9
108		テーブルにつく二人の男	1913	木版	22.0/23.8× 23.7/26.2
109	マックス・ペヒシュタイン	シュミット=ロットルフの肖像	1908	石版	38.5×34.5
110		イタリア風景	1908	木版	24.0×33.0
111		工場	1908	石版	33.5×40.5
112	オットー・ミュラー	砂丘に横たわる少女と座る少女	1920- 24	多色石版	29.7×39.2
113		水のなかに立っている少女と帽子を被り座っている少女	1921/ 22	石版	39.0×29.0
114		右向きの自画像(2)	1921/ 22	石版	39.3×30.0

めぐろの子どもたち展

平成3年度 目黒区立幼稚園、小・中学校連合展覧会

会期：1992(平成4)年1月18日～2月2日

会場：展示室A・B・C，展示ロビー，ワークショップ，エントランスホール

主催：目黒区立幼稚園長会／同小学校長会／同中学校長会／同心身障害学級設置校長会／目黒区教育会／
目黒区美術館／目黒区教育委員会

目黒区立の幼稚園，小学校，中学校，心身障害学級の児童・生徒が平成3年度に各学級で制作した作品を一堂に展示，区民の方々に広く供し，目黒区の美術・情操教育の現況について一層のご理解とご協力を賜ることを目的として開催されているもの。児童・生徒の生き生きとした造形に対する感性ばかりでなく，実際の指導に当たられている教師の方々の日頃の取組みの成果の披露でもある。

●パンフレット

寸法：A3 縦長四つ折

ページ数：8頁

内容：ごあいさつ(主催者)／幼稚園，心身障害学級，小学校，中学校美術及び中学校書写の展覧会指針(各担当教諭)／展示室案内

●ポスター サイズ：B3

●出展数：2,382点



B3ポスター



会場風景

目黒区の美術・書作—1991

会期：1992(平成4)年2月9日—3月1日

会場：展示室A・B・C, 展示ロビー, ワークショップ, エントランスホール, 区民ギャラリー

主催：目黒区美術館

目黒区在住・在勤の美術家・書家の方々が過去1年間の間に制作され、公募展や個展に出品された作品を、ジャンル・会派・団体を超えて一堂に会して展覧することで、目黒区の美術・書の現況を概観しようとする展覧会の3回目として開催された。出品作家が前回より、25作家増え総計166作家となり、目黒区における美術と書の制作活動の活況をあかして、それなりに充実して好評であった。が、その一方で、手狭となった会場、窮屈な展示といった問題が具体的に頻出し、展覧会形式の再考がせまられはじめている。

●カタログ

寸法：25.7×19.0cm

ページ数：92頁

デザイン：印象社(ポスター, チラシ, ハガキ共)

内容：ごあいさつ(加藤貞雄)/図版

●ポスター サイズ：B3

●チラシ サイズ：B5

●ハガキ サイズ：22.0×11.0cm



B3ポスター



会場風景

出品目録

No.	作家名	作品名	素材, 技法	寸法 (cm)
1	相原吉夫	奥入瀬の紅葉	油彩, キャンバス	116.7×90.9
2	青木邦子	塔のある家園	油彩, キャンバス	126.0×158.0
3	青木昌世	水との共存	油彩, キャンバス	130.3×162.1
4	青山 孝	BAROQUE 25, ROUND 5	油彩, キャンバス	162.1×162.1
5	赤穴桂子	さまよう詩心	アクリル, 油彩, キャンバス, ボード	145.5×97.0
6	赤穴 宏	静物・スイカ	油彩, キャンバス	112.1×162.1
7	渥美澄子	卓上静物	油彩, キャンバス	146.0×114.0

No.	作家名	作品名	素材,技法	寸法(cm)
8	天野政雄	天使の舞	油彩,キャンバス	162.0×130.0
9	有本一美	PLEROMA	油彩,キャンバス	162.1×112.1
10	一柳 幸	風の峠道	油彩,キャンバス	100.0×140.0
11	稲田ハル	彼此の刻	油彩,キャンバス	145.0×112.0
12	井上 慎	段丘	油彩,キャンバス	162.2×130.3
13	今井俊満	波濤図(飛花落葉シリーズ)	アクリル,キャンバス	130.0×195.0
14	上間尚子	紅型衣装の女(出を待つ)	油彩,キャンバス	162.0×130.3
15	内田千代子	relation	油彩,キャンバス	130.0×162.0
16	越後瑤子	旅の思い出話	油彩,キャンバス	90.9×116.7
17	大塚荘治	春色	油彩,キャンバス	81.2×116.7
18	大淵繁樹	宵のグラバー園より	油彩,キャンバス	130.3×162.1
19	小笠原淑子	約束	油彩,キャンバス	162.0×162.0
20	小河美智子	向日葵と洋梨の静物	油彩,キャンバス	145.6×112.3
21	荻野藤枝	道	油彩,キャンバス	130.0×162.0
22	長部朝子	思い出(ハワイ)	油彩,キャンバス	130.5×162.2
23	小野のり子	ある日	油彩,キャンバス	145.5×97.0
24	甲斐鉄男	池上(梅林)	油彩,キャンバス	130.3×162.1
25	河内 光	人・人・ひと…	銅板	162.0×194.0
26	木川満子	ミモザのある部屋	油彩,キャンバス	135.0×135.0
27	桑川 清	壺輪と紅花	油彩,キャンバス	162.1×130.3
28	小園ケイ子	樹上の鳥	油彩,キャンバス	130.3×97.0
29	小林コウ	船のお化粧	油彩,キャンバス	145.5×112.1
30	古茂田美津子	冬日	油彩,キャンバス	162.0×162.0
31	後藤岳楓	日立の海	油彩,キャンバス	97.0×130.3
32	斎藤勤也	ある風景	油彩,キャンバス	162.1×130.3
33	佐野美喜男	海の生命体	油彩,キャンバス	112.1×162.1
34	佐野雪枝	枯れた日向葵	油彩,キャンバス	162.1×130.3
35	柴原 雪	カサブランカに魅せられて	油彩,キャンバス	116.7×90.9
36	進藤幹弘	羅漢三体	油彩,キャンバス	145.5×112.1
37	末國壽江	ランプ	油彩,キャンバス	145.5×112.1
38	杉山栄吉	雨の滞船	油彩,キャンバス	130.0×162.0
39	菅田いな	順子	油彩,キャンバス	116.7×90.9
40	瀬谷貴久枝	PLAY I	油彩,キャンバス	162.0×162.0
41	芹澤恭子	午後のテーブル	油彩,キャンバス	100.0×125.0
42	高山和子	木もれ日	油彩,キャンバス	116.7×90.9
43	田口正子	ラ・メール	油彩,キャンバス	162.0×130.5
44	種房ひさ子	舞妓	油彩,キャンバス	176.0×145.0
45	田村由利子	漁港	油彩,キャンバス	131.0×163.0
46	大工原武司	秋立つ浅間	油彩,キャンバス	90.9×116.7
47	大聖寺宏	如在	油彩,キャンバス	161.7×97.3
48	角田 斌	たたら	油彩,キャンバス	199.0×135.0
49	鶴岡義雄	先笄	油彩,キャンバス	116.7×90.9
50	寺島祥五郎	ラマジャ ダンス(インドネシア)	リキテックス,紙	50.0×70.0
51	戸田芳江	川澄む	油彩,キャンバス	80.0×97.0
52	土肥 朗	光陰	油彩,キャンバス	112.2×145.6
53	中井幸一	青いリング	アクリル,シルク,キャンバス	130.3×162.1
54	中岡ユリ	平和の風のみち	油彩,キャンバス	112.0×145.0
55	梨谷 昭	花の主	油彩,キャンバス	162.1×130.3
56	西 大記	ジャングル・アレキサンダー	アクリル,キャンバス	132.0×162.0
57	西川加耶子	静物	油彩,キャンバス	112.1×145.5
58	芳賀 力	バレリーナ達	油彩,キャンバス	116.7×90.9
59	橋 もあい	昔話・琴が浜	油彩,キャンバス	90.9×116.7
60	長谷川政子	らくだと遊ぶ	油彩,キャンバス	112.0×145.5
61	原 久子	朝食の後	油彩,キャンバス	134.0×182.0

No.	作家名	作品名	素材,技法	寸法(cm)
62	原 正明	古城遠望	油彩,キャンバス	97.0×130.3
63	平松 譲	丘陵の春	油彩,キャンバス	90.9×116.7
64	藤沼幹雄	扉	油彩,キャンバス	60.6×72.7
65	穂刈弘子	信濃路の秋	油彩,キャンバス	90.9×116.7
66	本目勇市	クラゲとカッパの対話	油彩,キャンバス	49.0×38.0
67	前川佳子	南へ	油彩,キャンバス	117.0×91.0
68	前田さなみ	見透せぬ窓	油彩,キャンバス	162.0×162.0
69	松永茂樹	モスクの見える風景	油彩,キャンバス	112.1×145.5
70	丸毛利久	白い昼さがり	油彩,キャンバス	90.9×116.7
71	宮出 武	階段と花のあるパティオ(スペイン)	油彩,キャンバス	116.5×91.0
72	村上弥生	婦人像	油彩,キャンバス	116.7×90.9
73	茂木すみ子	果物のある静物	油彩,キャンバス	98.0×130.0
74	元藤郁子	アッサントーレの青-NO.2-	油彩,キャンバス	145.5×145.5
75	森田万樹	風の軌跡	油彩,キャンバス	162.1×130.3
76	柳瀬俊泰	Fixing a home	油彩,キャンバス	172.1×122.1
77	山本道子	静物	油彩,キャンバス	130.3×162.0
78	赤井春水	母子	紙本着彩	106.0×86.0
79	荒井華秋	妙義山	墨彩画,和紙	162.1×130.3
80	市川登孟胡	景図	紙本着彩	130.3×193.9
81	岩田染華	ヒマールの僧院	紙本墨彩	90.9×72.7
82	岩本美代子	うつろい	紙本着彩	162.0×162.0
83	木戸愛子	林	紙本(鳥のこ紙)着彩	93.0×79.0
84	澤井白陽	瀑声	紙本(本画仙二層),墨	193.9×130.3
85	菅田 渡	石切場跡	紙本着彩	162.1×112.1
86	杉浦千秋	酔蝶花	紙本着彩	71.0×53.0
87	橘 熙子	屋島	紙本着彩	162.1×112.1
88	土屋あづみ	森のうたげ	紙本着彩	116.7×72.7
89	永井菁光	不二	紙本着彩	60.0×120.0
90	西村岳芳	山笑う	紙本着彩	97.0×130.3
91	羽田愛子	花菖蒲	紙本着彩	90.9×65.2
92	増田俊雄	日本アルプス	紙本着彩	116.7×90.9
93	山井梅代	石庭	紙本着彩	73.0×53.0
94	板津陽子	人形と猫	水彩,紙	97.0×130.3
95	船坂芳助	MY SPACE AND MY DIMENSION	和紙	97.5×65.5
96	町田厚子	浮遊	水彩,紙,インク	56.0×77.0
97	水谷仁美	青彩	水彩,紙	116.5×140.0
98	安田清一	アレーナのある街角	紙,水彩	97.0×130.9
99	佐藤恵一	空象体系 I	紙,ステンレス	26.5×24.0
100	長はるこ	「7・5・3」	NECOプリント,ドローイング	96.0×122.0
101	土屋正男	こぼれ者の宴	型紙版,和紙	116.5×83.5
102	鳥居禎子	MAP	リトグラフ,紙	67.8×50.4
103	阿部昌義	長い髪	ブロンズ	57.0×22.0×22.0
104	磯田喜子	麗	桐粉,粘土	43.0×15.0×10.0
105	小幡 満	長い髪の「S」	ユーゴ大理石	36.0×27.0×22.0
106	小林達也	タイムカプセル	黒御影石	40.0×40.0×32.0
107	坂本正治	生きている河は必ず蛇行する。-長良川河口堰は無意味です-	ガラス,水,石,プラスチック,コンテナー,ポンプ	40.0×60.0×90.0
108	高橋土郎	空気膜造形『手』	ナイロン布,床置き	150.0×100.0×60.0
109	竹村よし子	希望	ブロンズ	50.0×20.0×20.0
110	二ノ宮裕子	波の音	石膏	170.0×100.0×74.0
111	平山隆也	夏の胸像	石(小松石)	160.0×50.0×40.0(台座を含む)
112	安原喜武	陰と影 No.6	木材に塗装	40.0×60.0×40.0
113	有賀則子	アリストロメリア	型絵染,布地	86.0×63.0
114	井高歸山	染付 武蔵野の図	磁器	34.7×φ32.0

No.	作家名	作品名	素材,技法	寸法(cm)
115	加々路伸子	華炎	和紙	73.0×60.5
116	加藤 清	阿弥陀如来像	和紙,軸装	115.0×70.0
117	鴨 康子	うつろい	革	109.0×109.0×13.0
118	小山けい子	諸向	ガラス	55.0×55.0
119	小山弘治	染付 鉢	白磁	φ48.0×4.0
120	竹村喜美子	気になる木	別珍を堅牢染(蠟を使用)	120.0×140.0
121	中村豊園	爽	和紙	117.0×91.0
122	西 悦子	Lace Boul	ガラス	φ30.0×17.0
123	町田 忍	有尾人,ホモ・コウダツス	皮革他	100.0×30.0×30.0
124	安原喜孝	板造り窯炎	陶器	41.0×84.0×23.0
125	山崎和子	BE FORM IN SPACE	絹布地,染料と顔料	180.0×160.0
126	山本伸子	省胎七宝唐草文鉢	銅板,七宝釉茶	13.5×13.5
127	吉田米子	午餐の宴	和紙,ボード	91.0×65.2
128	浅香恵堂	大法如鉄壁	軸装	200.0×55.0
129	天野白陽	自詠かな	額装	240.0×180.0
130	飯島華窓	石川郎女の歌	軸装	136.0×34.5
131	池田少雲	杜審言詩	軸装	242.0×61.0
132	上松一篠	野風開白蓮	額装	151.0×151.0
133	岡 照子	あき萩	額装	181.8×60.6
134	岡田玲舟	山城道	額装	67.0×96.0
135	岡部初子	時鳥	額装	181.8×78.8
136	荻須耕陽	愚者千慮必有一得	額装	135.0×35.0
137	小野桂甫	梅	軸装	135.0×35.0
138	小原紫琴	めぐりあひて	額装	135.0×35.0
139	影山房子	散紅葉	額装	182.0×79.0
140	風間凌山	嶺梅先破玉 江柳末搖金	額装	240.0×45.0
141	川上柏翠	風雅	軸装	135.0×35.0
142	北島菁丘	わが夫子	額装	68.0×180.0
143	工藤小波	書	軸装	136.0×35.0
144	栗林松雅	春のあるじ	額装	169.0×54.0
145	栗山鳳雪	春山夜月詩	額装	240.0×60.0
146	小林抱牛	静	雅仙紙,墨	117.0×88.0
147	首藤佳泉	静中動	軸装	88.0×39.5
148	鈴木般山	無爲絶學	石印,額装	39.0×30.0
149	関 墨水	観心	雅仙紙,額装	250.0×61.0
150	田中赤城	知足者富	軸装	307.0×94.0
151	田中葉玉	秋	額装	47.0×165.0
152	田淵観斎	長鳴鳥	屏風(二曲)	162.0×144.0
153	丹治思郷	颯々	額装	106.5×55.0
154	續木湖山	清芬	軸装	35.0×135.0
155	津守祥玉	王維詩二題	額装	200.0×70.0
156	徳野恵美子	旅人の	軸装	136.0×34.5
157	中井史朗	天地創造	軸装	210.0×57.0
158	服部虚舟	得一法	篆刻,額装	30.0×17.0
159	原嶋竹堂	青春	軸装	136.0×34.0
160	藤田紫香	田園の居に帰る	額装	231.0×52.5
161	堀田小葉	春日野の	額装	35.0×134.0
162	持田春翠	近代詩文書	額装	135.0×35.0
163	森本妙子	春がすみ	額装	60.0×240.0
164	保浦玉英	唐・欧陽詢伝授訣	額装	242.0×60.0
165	山崎方石	鑿古齋	篆刻,額装	5.5×5.5
166	渡邊三代子	島木赤彦の歌	屏風(四曲)	90.7×114.5

石川光陽 激動の昭和—東京大空襲の全記録展

会期：1992(平成4)年3月7日—4月5日
会場：展示室A・B・C, 展示ロビー, エントランスホール
主催：目黒区美術館／目黒区／目黒区教育委員会
協賛：日本コダック株式会社
協力：岩波書店
企画協力：森田写真事務所
担当学芸員：重田 誠
関連展示：作家遺品
同時開催：ワークショップ・写真との出会い

警視庁カメラマンとして数多くの貴重な写真を撮影しながら、これまで広く知られることなく目黒に居住した写真家・故石川光陽の仕事を回顧した。戦時下に例外的に撮影を認められた東京空襲の被災記録を中心に展示。初空襲から3月10日の大空襲まで、詳細な調査によって撮影の場所・日時等を明示、都内各地の被災の状況を、光陽の優れたカメラ・アイを通じて明らかにした。

同時開催のワークショップと密接な関連づけを行い、浅草に撮影現地を尋ねたほか、スナップ写真制作講座などを実施。写真集『痛恨の昭和』(岩波書店)刊行とのタイアップも大きな反響を呼んだ。

●カタログ

寸法：25.6×19.1cm (B5変)

ページ数：48頁

内容：ごあいさつ(加藤貞雄)／「大東京の街角で」他／図版、出品リスト・データ／光陽と写真(森田峰子)／略年譜

●ポスター サイズ：B2, B3

●チラシ サイズ：B5(4頁)

●主要関連記事

「撮り続けた『大空襲』 故石川光陽氏の記録写真 研究家が分類 展示」 毎日新聞 1992年3月2日

「激動の昭和 レンズに刻印 元警視庁カメラマン東京で遺作展」 共同通信配信 西日本新聞 1992年3月7日
(他に共同通信配信記事掲載地方紙9紙)

「空襲を撮影、命がけの足跡 終戦まで被災地撮り続けた石川光陽の写真整理」 森田峰子 日本経済新聞 1992年3月10日

「Photos of Tokyo air raids displayed」 YVONNE CHANG THE JAPAN TIMES thursday, march 19, 1992



B3ポスター



会場風景

出品目録

No.	タイトル	撮影年月日	原板種別
1	日本橋	昭和8(1933)年3月	手札(シートフィルム)
2	銀座4丁目交差点	昭和7(1932)年	35m/m
3	数寄屋橋	昭和9(1934)年5月	35m/m
4	雨の銀座3丁目	昭和10(1935)年6月	35m/m
5	雨の銀座3丁目	昭和10(1935)年6月	35m/m
6	銀座4丁目交差点	昭和9(1934)年7月	35m/m
7	雪の浅草六区	昭和11(1936)年2月4日	35m/m
8	上野松坂屋付近	昭和9(1934)年1月	35m/m
9	上野広小路	昭和7(1932)年	35m/m
10	東京乗合自動車	昭和9(1934)年	35m/m
11	蔵前問屋街	昭和9(1934)年8月	35m/m
12	両国川開きのやぐら	昭和9(1934)年頃	35m/m
13	吉原遊廓仲之町通り	昭和10(1935)年	35m/m
14	洲崎遊廓大門前交差点	昭和9(1934)年10月	35m/m
15	洲崎遊廓	昭和9(1934)年10月	35m/m
16	駒込二業地	昭和11(1936)年1月	35m/m
17	新宿角筈	昭和7(1932)年頃	35m/m
18	早稲田山吹町	昭和10(1935)年2月	35m/m
19	中野駅北口商店街	昭和9(1934)年3月	35m/m
20	高円寺カフェー街	昭和11(1936)年8月	35m/m
21	赤坂見附交差点	昭和10(1935)年4月9日	35m/m
22	満州国皇帝の観兵式	昭和10(1935)年4月9日	35m/m
23	駒込肴町	昭和11(1936)年1月	35m/m
24	中央卸売市場荏原分場	昭和11(1936)年6月	35m/m
25	東横電車中目黒駅	昭和11(1936)年5月	35m/m
26	第1回普通選挙	昭和3(1928)年2月20日	キャビネ(ガラス乾板)
27	第1回普通選挙のポスター	昭和3(1928)年2月	手札(シートフィルム)
28	第1回普通選挙のポスター	昭和3(1928)年2月	手札(シートフィルム)
29	第1回普通選挙のポスター	昭和3(1928)年2月	手札(シートフィルム)
30	第8回メーデー	昭和2(1927)年5月1日	手札(シートフィルム)
31	第8回メーデー	昭和2(1927)年5月1日	キャビネ(シートフィルム)
32	第8回メーデー	昭和2(1927)年5月1日	手札(シートフィルム)
33	第8回メーデー	昭和2(1927)年5月1日	手札(シートフィルム)
34	第9回メーデー	昭和3(1928)年5月1日	キャビネ(ガラス乾板)
35	第10回メーデー	昭和4(1929)年5月1日	キャビネ(シートフィルム)
36	第10回メーデー	昭和4(1929)年5月1日	キャビネ(シートフィルム)
37	第10回メーデー	昭和4(1929)年5月1日	キャビネ(シートフィルム)
38	第16回メーデー	昭和10(1935)年5月1日	35m/m
39	2・26事件、警視庁裏庭の反乱軍兵士	昭和11(1936)年2月27日	キャビネ(ガラス乾板)
40	2・26事件、警視庁裏庭の反乱軍兵士	昭和11(1936)年2月27日	キャビネ(ガラス乾板)
41	2・26事件、警視庁裏庭の反乱軍兵士	昭和11(1936)年2月27日	キャビネ(ガラス乾板)
42	2・26事件、警視庁裏庭の反乱軍兵士	昭和11(1936)年2月27日	キャビネ(ガラス乾板)
43	イギリス大使館前で反英市民大会	昭和14(1939)年7月14日	35m/m
44	大陸へ出征する兵士の見送り	昭和11(1936)年5月	35m/m
45	大陸へ出征する兵士の見送り	昭和11(1936)年5月	35m/m
46	外地へ移動の前に皇居遙拝	昭和12(1937)年2月	35m/m
47	出征兵士見送りの行列	昭和12(1937)年7月	35m/m
48	銀座通りで千人針	昭和12(1937)年8月	35m/m
49	清洲橋の煙幕	昭和12(1937)年9月	35m/m
50	漢口陥落祝賀の飾り	昭和13(1938)年10月	35m/m
51	火災現場、共同印刷付近	昭和14(1939)年3月23日	35m/m
52	防空演習	昭和14(1939)年頃	35m/m
53	防空演習	昭和14(1939)年10月	35m/m

No.	タイトル	撮影年月日	原板種別
54	産業戦士体育祭	昭和16(1941)年9月	35m/m
55	産業戦士体育祭	昭和16(1941)年9月	35m/m
56	戦捷(勝)祝賀第1次国民大会	昭和17(1942)年2月18日	35m/m
57	尾久の被災現場	昭和17(1942)年4月18日	35m/m
58	尾久の被災現場	昭和17(1942)年4月18日	35m/m
59	尾久の被災現場	昭和17(1942)年4月18日	35m/m
60	隣組の防空演習	昭和18(1943)年5月19日	35m/m
61	待避訓練	昭和18(1943)年頃	35m/m
62	待避訓練	昭和18(1943)年頃	35m/m
63	東京駅で待避訓練	昭和18(1943)年8月	35m/m
64	学徒出陣社行会	昭和18(1943)年10月21日	35m/m
65	買い出しにいった農家の庭先で	昭和18(1943)年	35m/m
66	初めての夜間空襲から明けた日本橋通り	昭和19(1944)年11月30日	35m/m
67	三越本店前、冷雨にけふる焼け跡	昭和19(1944)年11月30日	35m/m
68	室町3丁目付近	昭和19(1944)年11月30日	35m/m
69	神田橋付近	昭和19(1944)年11月30日	35m/m
70	学校に避難した人々	昭和20(1945)年1月1日	35m/m
71	警視庁屋上から銀座爆撃の瞬間を撮る	昭和20(1945)年1月27日	35m/m
72	警視庁屋上から銀座爆撃の瞬間を撮る	昭和20(1945)年1月27日	35m/m
73	警視庁屋上から銀座爆撃の瞬間を撮る	昭和20(1945)年1月27日	35m/m
74	朝日新聞社付近	昭和20(1945)年1月27日	35m/m
75	猛爆下を逃げる親娘	昭和20(1945)年1月27日	35m/m
76	鳩居堂付近	昭和20(1945)年1月27日	35m/m
77	服部時計店前	昭和20(1945)年1月27日	35m/m
78	鳩居堂付近	昭和20(1945)年1月27日	35m/m
79	御木本真珠店前	昭和20(1945)年1月27日	35m/m
80	銀座4丁目交差点	昭和20(1945)年1月27日	35m/m
81	炎上中の安田銀行数寄屋橋支店	昭和20(1945)年1月27日	35m/m
82	有楽町1丁目の被災現場	昭和20(1945)年1月27日	35m/m
83	教員4人即死の泰明国民学校	昭和20(1945)年1月27日	35m/m
84	有楽町1丁目砂本ビル前で遺体収容	昭和20(1945)年1月27日	35m/m
85	有楽町駅中央口改札付近	昭和20(1945)年1月27日	35m/m
86	生き埋めになった人を発掘	昭和20(1945)年1月27日	35m/m
87	銀座4丁目	昭和20(1945)年1月29日	35m/m
88	駒込動坂下の電車軌道に大穴	昭和20(1945)年1月29日	35m/m
89	駒込動坂下の電車軌道に大穴	昭和20(1945)年1月29日	35m/m
90	砂町警察署脇で焼け跡の処理	昭和20(1945)年2月18日	35m/m
91	炎上中の軍事保護院	昭和20(1945)年2月25日	35m/m
92	炎上する内閣印刷局	昭和20(1945)年2月25日	35m/m
93	炎上する内閣印刷局	昭和20(1945)年2月25日	35m/m
94	神田橋付近	昭和20(1945)年2月25日	35m/m
95	美土代町付近の猛火	昭和20(1945)年2月25日	35m/m
96	内閣印刷局の焼け跡	昭和20(1945)年2月26日	35m/m
97	錦町警察署前	昭和20(1945)年2月26日	35m/m
98	神田錦町1丁目付近	昭和20(1945)年2月26日	35m/m
99	浅草雷門仲見世通り	昭和20(1945)年2月26日	35m/m
100	浅草松屋をのぞむ	昭和20(1945)年2月26日	35m/m
101	地下鉄ビル付近	昭和20(1945)年2月26日	35m/m
102	駒込坂下町で遺体収容	昭和20(1945)年3月4日	35m/m
103	駒込坂下町で家屋倒壊	昭和20(1945)年3月4日	35m/m
104	駒込林町	昭和20(1945)年3月4日	35m/m
105	目黒区柿の木坂	昭和20(1945)年3月5日	35m/m
106	司法省	昭和20(1945)年3月10日	35m/m
107	黒く迷彩された国会議事堂	昭和20(1945)年3月10日	35m/m
108	罹災した人々	昭和20(1945)年3月10日	35m/m

No.	タイトル	撮影年月日	原板種別
109	国際劇場付近	昭和20(1945)年3月10日	35m/m
110	浅草花川戸	昭和20(1945)年3月10日	35m/m
111	道路の一角で相抱く焼死体	昭和20(1945)年3月10日	35m/m
112	犠牲になった母子	昭和20(1945)年3月10日	35m/m
113	浅草花川戸	昭和20(1945)年3月10日	35m/m
114	路上に横たわる焼死体	昭和20(1945)年3月10日	35m/m
115	浅草区役所付近	昭和20(1945)年3月10日	35m/m
116	浅草付近, 縁故者を求めて	昭和20(1945)年3月10日	35m/m
117	浅草雷門前	昭和20(1945)年3月10日	35m/m
118	上野両大師脇に収容された遺体	昭和20(1945)年3月16日	35m/m
119	菊川橋で川中の遺体収容	昭和20(1945)年3月16日	35m/m
120	菊川橋付近で遺体収容	昭和20(1945)年3月16日	35m/m
121	川中に浮かぶ遺体, 菊川橋付近	昭和20(1945)年3月16日	35m/m
122	昭和天皇が江東地区被害状況をご視察	昭和20(1945)年3月18日	35m/m
123	四谷で建物強制疎開	昭和20(1945)年3月31日	35m/m
124	高田馬場駅前	昭和20(1945)年4月1日	35m/m
125	中島飛行機青年学校	昭和20(1945)年4月2日	35m/m
126	矢口町の被災現場	昭和20(1945)年4月5日	35m/m
127	大本営前	昭和20(1945)年4月14日	35m/m
128	四谷区坂町付近	昭和20(1945)年4月14日	35m/m
129	花園町付近	昭和20(1945)年4月14日	35m/m
130	池袋駅前通り	昭和20(1945)年4月14日	35m/m
131	巣鴨新庚申塚付近	昭和20(1945)年4月14日	35m/m
132	大塚より池袋方面をのぞむ	昭和20(1945)年4月14日	35m/m
133	焼け跡にたつ急造の小屋, 尾久警察署前にて	昭和20(1945)年4月14日	35m/m
134	罹災して避難する兄弟	昭和20(1945)年4月14日	35m/m
135	焼け跡を行く人々	昭和20(1945)年4月14日	35m/m
136	牛込筑土八幡	昭和20(1945)年4月14日	35m/m
137	罹災した池袋秋田県連合農業倉庫から米俵を選び出す	昭和20(1945)年4月14日	35m/m
138	池袋秋田県連合農業倉庫から運び出された米俵	昭和20(1945)年4月14日	35m/m
139	防空壕に埋もれた遺体を掘り出す	昭和20(1945)年4月14日	35m/m
140	防空壕に埋もれた遺体を掘り出す	昭和20(1945)年4月14日	35m/m
141	上目黒付近	昭和20(1945)年4月16日	35m/m
142	東横線不通のため線路上を歩く	昭和20(1945)年4月16日	35m/m
143	強制疎開された家屋	昭和20(1945)年4月16日	35m/m
144	品川駅に殺到する被災者	昭和20(1945)年4月16日	35m/m
145	京浜国道大森付近	昭和20(1945)年4月16日	35m/m
146	京浜国道を歩く被災者	昭和20(1945)年4月16日	35m/m
147	農林省荏原倉庫の焼米に集まる人々	昭和20(1945)年5月24日	35m/m
148	焼け跡にたたずむ馬	昭和20(1945)年5月24日	35m/m
149	大崎警察署付近	昭和20(1945)年5月24日	35m/m
150	信濃町付近	昭和20(1945)年5月24日	35m/m
151	須賀町付近	昭和20(1945)年5月24日	35m/m
152	道玄坂百軒店	昭和20(1945)年5月24日	35m/m
153	八雲付近の猛火	昭和20(1945)年5月25日	35m/m
154	渋谷駅付近	昭和20(1945)年5月26日	35m/m
155	青山都電車庫	昭和20(1945)年5月26日	35m/m
156	赤坂新町付近	昭和20(1945)年5月26日	35m/m
157	赤坂溜池付近	昭和20(1945)年5月26日	35m/m
158	焼け跡に残るアメリカ大使館	昭和20(1945)年5月26日	35m/m
159	墜落したB29の残骸	昭和20(1945)年5月26日	35m/m
160	3階を焼失した東京駅	昭和20(1945)年5月26日	35m/m
161	銀座通り1丁目	昭和20(1945)年5月26日	35m/m
162	煙を出す銀座松屋	昭和20(1945)年5月26日	35m/m
163	焼失した銀座三越	昭和20(1945)年5月26日	35m/m

No.	タイトル	撮影年月日	原板種別
164	焼失した歌舞伎座	昭和20(1945)年5月26日	35m/m
165	焼失した銀座三越	昭和20(1945)年5月26日	35m/m
166	八幡通りの実践女学校付近	昭和20(1945)年5月27日	35m/m
167	青山警察署横に集められた焼死体	昭和20(1945)年5月27日	35m/m
168	青山警察署横に集められた焼死体	昭和20(1945)年5月27日	35m/m
169	赤坂見附	昭和20(1945)年5月27日	35m/m
170	焼け跡の理容店	昭和20(1945)年5月29,30日頃	35m/m
171	矢口付近	昭和20(1945)年5月29,30日頃	35m/m
172	焼け跡に建つバラック	昭和20(1945)年5月31日頃	35m/m
173	焼け跡に建つバラック	昭和20(1945)年5月31日頃	35m/m
174	八王子市, すっかり焼けた交番にて	昭和20(1945)年8月4日	35m/m
175	八王子市街	昭和20(1945)年8月4日	35m/m
176	八王子市街	昭和20(1945)年8月4日	35m/m
177	敗戦の翌日, 皇居前広場にて	昭和20(1945)年8月16日	35m/m
178	敗戦の翌日, 皇居前広場にて	昭和20(1945)年8月16日	35m/m
179	敗戦の翌日, 皇居前広場にて	昭和20(1945)年8月16日	35m/m
180	交通巡査と一緒にMPが交通整理	昭和21(1946)年	35m/m
181	上野, 職業安定所付近	昭和23(1948)年	35m/m
182	上野, 職業安定所	昭和21(1946)年	35m/m
183	浅草名物大福もち	昭和21(1946)年冬	35m/m
184	三宅坂付近に立ち並んだ進駐軍の仮兵舎	昭和22(1947)年	35m/m
185	上野駅前で稀少の切符を求める人々の列	昭和23(1948)年頃	35m/m
186	メーデー事件	昭和27(1952)年5月1日	35m/m
187	メーデー事件	昭和27(1952)年5月1日	35m/m
188	メーデー事件	昭和27(1952)年5月1日	35m/m
189	砂川基地の反対闘争	昭和30(1955)年5月	35m/m
190	砂川基地の反対闘争	昭和30(1955)年5月	35m/m
191	砂川基地の反対闘争	昭和30(1955)年5月	35m/m
192	八雲の自宅で	昭和21(1946)年冬	35m/m

註) 本展の出品写真のデータは, 石川光陽が遺した資料をもとに, 森田写真事務所と目黒区美術館が調査・作成した。

*タイトル: 今回の調査結果をもとに新たに調整した。

*撮影年月日: 今回判明した範囲でなるべく詳しく記した。

*原板種別: 石川光陽が遺した原板(フィルム, ガラス乾板等)の種類を記した。

II. 教育普及

1. ワークショップ

■ワークショップ・手と目の冒険広場「水のアラベスク」

(展示記録等は、「I. 展覧会」の項参照)

●こどものためのワークショップ

○「水を探して元気よく歩こう」(Aコースのためのプレ・ワークショップ)

水への意識を徐々に高めて行くため、9月のワークショップにさきがけて、夏休み中に開催した。なにげなく見ている水を意識的にみるため、街に出て、水を探すオリエンテーリングをおこなった。ポラロイドカメラ、ワークブック使用。

・井の頭公園

開催日：8月9日(金)

参加者：12人

・葛西臨海公園

開催日：8月16日(金)

参加者：13人

A. 水の時間—誰も知らない過ごし方

水のさまざまな表情を五感で観察し、3m×10mの紙に身体をつかって水の絵「雨が降って水たまりに水がおちてポコポコ音がした」を全員で描いた。そして、それぞれが気がついた水の表情について話し合い、最後にグループごとのパフォーマンスで発表した。

講師：榎本寿紀(ワークショップ・アシスタント)

開催日：9月7日(土)、8日(日)、14日(日)、15日(日)

参加者：22人(小学生、中学生)

B. みんなで遊ぶ—不思議な水のかたち

展示作品を鑑賞し、水の無限に広がる運動を作品に発表している作家の仕事にふれ、楽しい水の遊びを体験した。水への意識を高めながら、ホースや幾種ものジョイントを使って、不思議な噴水をグループで創作した。

講師：八柳尚樹(彫刻家・出品作家)

開催日：9月16日(日)、21日(土)、22日(日)

参加者：28人(小学生、中学生)

●おとなのためのワークショップ

A. 水のアラベスク—音のかたち

水を楽器にするとどのような音色が楽しめるか、身の回りの道具と水で音を創作した。作家のコレクションの中から水に因んだ東西のめずらしい音楽を鑑賞し、実際に竹での造形を試み、水を流して自然のあらゆる音のありかを探り出していった。

講師：吉村 弘(環境音楽・作曲家)—出品作家

日時：9月23日(月・祝)、28日(土)

参加者：15人

B. 透明な水に刷る

水に印刷することができるか。この不可能と思える仮定に挑むため、まず、水を見たり、展示作品を鑑賞し、水と自分との関係を確認することからはじまった。固定観念を取り払い、水の多様な表情を体得していく。そして、実際にシルクスクリーンの版をつくり、さまざまな工夫を凝らして、図柄を水の上にかべていった。

講師：高橋貴和(宮城県美術館学芸員)

開催日：9月29日(日)

参加者：29人

●どなたでもワークショップ

C. 雨の日が待ちどおしい—自分だけの傘

幼児から親子で、気軽に参加できる半日コースのワークショップとして開催した。透明な傘に透明なジェルで絵を描いたり、色をつけたりしながら自分だけの傘づくりをおこなった。

講師：吉野桂子(武蔵野美術大学大学院生)

開催日：9月13日(金)、27日(金)、10月3日(木)

参加者：32名

協力：目黒区美術館ボランティア



こどものためのワークショップ

■ワークショップ・写真との出会い

会期：1992年3月7日—4月5日

会場：ワークショップ

主催：目黒区美術館

担当学芸員：降旗千賀子

ワークショップ・アシスタント：榎本寿紀

協賛：日本コダック株式会社

同時開催：石川光陽 激動の昭和—東京大空襲の全記録展

同時開催の石川光陽展に関連させ、写真を身近に楽しむことを目的に開催した。

●こどものためのワークショップ

ピンホールカメラを使いながら写真の構造などを確認した後、楽しく写真を使って遊ぶことを実践するため、街に出掛け各自がグループで話し合った内容をオモシロカメライージャーで撮影。できた写真をコラージュしながら空想の四次元の国をグループで創作した。

A. 写真でつくる四次元の国

講師：MAV (写真グループ)―小林克司, 平野覚堂, 村瀬尚子

開催日：3月7日(土), 8日(日), 14日(土), 15日(日)

参加者：23人

B. 写真の国のおかしな生き物―何に見える？

講師：MAV (写真グループ)―小林克司, 平野覚堂, 村瀬尚子

開催日：3月25日(木), 26日(木), 27日(金)

参加者：32人

●おとなのためのワークショップ

A. 東京ウォッチング―石川光陽の足跡をたどって

展示中の「石川光陽 激動の昭和―東京大空襲の全記録展」を鑑賞し、2日目に、吉原―浅草周辺―洲崎を歩き、光陽の足跡をたどった。

講師：森田一朗, 森田峰子 (森田写真事務所)

開催日：3月19日(木), 20日(金)

参加者：20人

B. 写真の中の“歴史”と“わたし”

幕末に渡来した写真術の歴史を、講師所蔵の貴重な資料を実見しながら振り返った。写真を撮ることの楽しさはどんなところにあるか、実際に原宿にでかけ、思い思いの写真を撮り、コラージュやレイアウトしてそれぞれの着眼点の違いなどを話しあった。

講師：森田一朗, 森田峰子 (森田写真事務所)

開催日：3月22日(日), 29日(日), 4月5日(日)

参加者：18人



おとなのためのワークショップ

2. 展覧会関連事業

●写真のエコール・ド・パリ展

○講演会：暗室から見たパリの写真家たち

講師：ピエール・ガスマン(出品作家, 現像技師) 通訳付

日時：4月13日(土)

参加者：87人

○ミュージアム・コンサート：モーツァルトの午後

演奏：目黒バロック室内オーケストラ, 指揮：大野洋, ヴァイオリン独奏：沼田雅行

演奏曲目：交響曲第13番(K.112)/ヴァイオリン協奏曲第3番(K.216)/アイネ・クライネ・ナハト・ムジーク(K.525)/交響曲第15番(K.124)

日時：4月21日(日)

参加者：175人

●ランボルギーニ・ソニア展

○講演会：ソニアを生むまで

講師：山崎亮志

開催日：7月27日(土)

参加者：162人

○ワークショップ1：モデラーによるデモンストレーション

モデラー：自動車工房技師(イタリア人)

開催日：7月27日(土), 28日(日)

参加者：325人

○ワークショップ2：高校生のための「私のカーデザイン～イメージからモデル造りまで」

講師：山崎亮志

開催日：7月31日(木), 8月1日(木)

参加者：14人

●ドイツ表現主義 ブリュッケ展

講演会：「ドイツ表現主義 ブリュッケ」

講師：マグダレーナ・M.メラー(ブリュッケ美術館長)

日時：10月19日(土)

参加者：80人

III. 入館状況

展覧会名	会期	開催日数 (日)	入館者数(人)		会場	備考
			総数	1日平均		
写真のエコール・ド・パリ展	3年4.13- 5.26	38	10,085	265	A, B, C, L, W, E	
目黒名(画)座 5本立一挙公開	3年6.8- 7.14	32	3,125	98	A, B, C, L, W, E	
山崎亮志のランボルギーニ・ソニア “カーボグ” デザインストーリーとカロツェリアのすべて展	3年7.27- 9.1	32	5,280	165	A, B, C, L, W, E	
美術史探索学・終刊号 荒井龍男展—叙情的抽象の造形	3年9.7- 10.4	24	3,230	135	A	同時開催
ワークショップ・手と目の冒険広場 「水のアラベスク」					B, C, L, W	
ドイツ表現主義 ブリュッケ展	3年10.19 -12.8	44	9,942	226	A, B, C, L, W	
めぐろの子どもたち展 平成3年度目黒区立幼稚園、小・中学校連合展覧会	4年1.18 -2.2	14	7,109	508	A, B, C, L, W, E	
目黒区の美術・書作—1991	4年2.9 -3.1	19	2,716	143	A, B, C, L, W, E, G	
石川光陽 激動の昭和 —東京大空襲の全記録展	4年3.7 -4.5	26	12,147	467	A, B, C, L	
計	—	229	53,634	234	—	—

A=展示室A, B=展示室B, C=展示室C, L=展示ロビー, W=ワークショップ室, E=エントランスホール, G=区民ギャラリー

IV. 作品収集

●目黒区美術館資料収集基本方針

目黒区美術館資料の収集については、優れた美術作品(以下「作品」という。)と、その理解を深めるうえで補助的な役割を果たし得る資料(以下「補助資料」という。)を、次の項目により計画的に収集する。

記

- 1 近代から現代に至るわが国の美術の流れを体系的に理解するうえで有益な作品
- 2 作品の成立する過程、素材および技術と表現の関係を理解するうえで有益な作品および補助資料
- 3 その他、目黒区美術館の所蔵品としてふさわしい作品および補助資料

収集対象

作品	平面(洋画、日本画、素描、版画、書など) 立体(彫刻、工芸など) 映像(写真、映画、ビデオなど)
補助資料	素材・工程・技法などに関わる補助資料 作品制作に関わる書簡、日記など 上記収集に関わる文献

●収蔵作品件数

年 度	平 面	立 体	映 像	工 芸	コレクション	計
昭和56～平成2	381	14	2	12	1	410
平成3	87	1	8	—	—	96
計	468	15	10	12	1	506

●目黒区美術館資料収集委員会委員名簿

(平成4年3月31日現在)

役職	氏 名	備 考
委員長	三木 多聞	国立国際美術館長
委員	桑原 住雄	武蔵野美術大学教授
〃	細野 正信	山種美術館学芸部長
〃	長谷部満彦	国立近代美術館工芸館工芸課長
〃	真室 佳武	東京都美術館事業課長

●平成3年度収蔵作品一覧

○購入作品

作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	素材, 技法	摘要
荒井龍男	過失に於ける歓喜への頌歌	1937年	144.0×87.5	油彩, キャンバス	
平賀亀祐	カキのある静物	1928年	46.0×55.0	油彩, 板	
宇佐美圭司	Ghost Plan in Process-Profile I-IV	1972年	240.0×240.0×2台, 180.0×180.0×2台, 500ピース	アクリル, 木	
宇佐美圭司	Resonance of Profiles:Stratification	1976年	214.0×196.0	油彩, キャンバス	
不動茂弥	庚神	1966年	182.3×130.3	岩絵具, 顔料, 麻紙, コンクリート, 綿壁, 朱, 和紙, 板	
三上 誠	極	1959年頃	121.5×66.9	木, 縄, 顔料	
三上 誠	作品 9	1962年頃	121.2×60.7	ダンボール, 木, 顔料	
三上 誠	無題	1968年頃	121.2×91.5	顔料, 紙	
木村嘉子	作品 O	1963年	139.0×80.0	油彩, キャンバス	
木村嘉子	作品 L	1963年	131.0×80.0	油彩, キャンバス	
赤穴 宏	目黒駅	1950年	72.5×60.5	油彩, キャンバス	
赤穴 宏	雪の日の目黒太鼓橋	1985年	65.2×80.3	油彩, キャンバス	
赤穴 宏	新宿副都心遠望	1989年	130.3×162.1	油彩, キャンバス	
木内 克	裸婦	1927年	66.0×50.0	油彩, 厚紙	
浅野弥衛	無題	1966年	72.7×90.9	油彩, キャンバス	
浅野弥衛	無題	1967年	72.0×90.5	油彩, キャンバス	
駒井哲郎	夜の中の女	1951年	12.5×15.5	インタリオ, 紙	
駒井哲郎	Poisson ou poison (魚又は毒)	1962年	25.9×35.9	エッチング, 紙	
駒井哲郎	鎮魂歌	1965年	27.0×20.2	エッチング, 紙	
駒井哲郎	風景	1971年	10.2×11.7	エッチング, 紙	
駒井哲郎	nature morte (静物)	1971年	18.3×15.0	アクアチント, ソフト グランドエッチング, 紙	
駒井哲郎	Paysage avec deux drapeaux	1972-73年	19.0×19.6	モノタイプ, 紙	
駒井哲郎	恩地孝四郎頌	1974年	20.7×10.0	アクアチント(亜鉛板), 紙	
駒井哲郎	顔(びっくりしている少女)	1975年	23.0×21.0	アクアチント(亜鉛板), 紙	
国吉康雄	足をつかむ右向きの裸婦	1916-17年	7.6×10.2	エッチング, 紙	
国吉康雄	ベッドに横たわる裸婦	1916-17年	5.9×10.2	エッチング, 紙	
国吉康雄	抱き合う男と女	1916-17年	7.6×10.1	ドライポイント, 紙	
国吉康雄	一人が眠っている二人の女	1916-17年	7.6×10.1	ドライポイント, 紙	
国吉康雄	パイプとテーブルのそばの抱擁	1916-17年	7.6×10.1	ドライポイント, 紙	
池田満寿夫	ビートガール	1960年	21.5×15.0	ドライポイント, 紙	
池田満寿夫	飾窓の中	1963年	39.5×34.5	ドライポイント, ルー レット, 紙	
池田満寿夫	子供の中の風景	1962年	36.5×35.5	ドライポイント, 紙	
池田満寿夫	日光浴する貴婦人たち	1962年	36.2×34.5	ドライポイント, アク アチント, 紙	
池田満寿夫	夏 I	1964年	40.0×37.0	ルーレット, エッチン グ, 紙	
高松次郎	写真の写真	1973-91年	45.5×55.7	写真(45photos)	

○寄贈作品

作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	素材, 技法	摘要
磯辺行久	WORK 65-41	1965年	124.0×122.0	ミックスメディア	
不動茂弥	落ちる文字	1967年	162.0×122.0	岩絵具, 顔料, 麻紙, コンクリート, 綿壁, 和紙, 板	
伊沢宏子	タイトル不詳	1964年	52.0×65.0	水彩, クレヨン, 紙	
伊沢宏子	タイトル不詳	1964年	66.5×48.0	水彩, 紙	
木村嘉子	作品 Y	1963年	137.0×80.0	油彩, キャンバス	
木村嘉子	作品 M	1963年	137.0×75.0	油彩, キャンバス	
荒井龍男	虚寫	1937年頃	130.5×97.2	油彩, 砂, キャンバス	
荒井龍男	曠茫	1938年頃	112.0×162.0	油彩, キャンバス	
赤穴 宏	作品(岳)	1961年	145.5×112.0	油彩, キャンバス	
赤穴 宏	作品(邑)	1961年	145.5×112.0	油彩, キャンバス	
赤穴 宏	作品(礁)	1961年	130.4×130.4	油彩, キャンバス	
赤穴 宏	静物・スイカ	1991年	112.1×162.1	油彩, キャンバス	
赤穴 宏	クールマイヨールの小さな教会	1991年	91.0×116.8	油彩, キャンバス	
宮田武彦	柿の木坂風景	1947年	39.5×51.0	油彩, 板, キャンバス	
宮田武彦	トレド風景	1989年	90.0×180.0	油彩, 板	絶筆, 未完
宮田武彦	声楽	不詳	91.0×91.0	油彩, キャンバス	
住川忠夫	空間的現象(UN PHENOMENE SPATIAL)	1976年	200.0×114.0	アクリル, キャンバス	
住川忠夫	三つの正方形 A	1982年頃	110.0×110.0	アクリル, キャンバス	
住川忠夫	三つの正方形 B	1982年頃	110.0×110.0	アクリル, キャンバス	
住川忠夫	三つの正方形 C	1982年頃	110.0×110.0	アクリル, キャンバス	
住川忠夫	三つの正方形 D	1982年頃	110.0×110.0	アクリル, キャンバス	
住川忠夫	三つの正方形 E	1982年頃	110.0×110.0	アクリル, キャンバス	
住川忠夫	三つの正方形 F	1982年頃	110.0×110.0	アクリル, キャンバス	
住川忠夫	三つの正方形 G	1982年頃	110.0×110.0	アクリル, キャンバス	
住川忠夫	三つの正方形 H	1982年頃	110.0×110.0	アクリル, キャンバス	
住川忠夫	三つの正方形(八点によるヴァリエーション)(両面)	1982年	36.7×52.0	写真コラージュ	
住川忠夫	無題 I	不詳	100.0×100.0	アクリル, キャンバス	
住川忠夫	無題 II	不詳	100.0×100.0	アクリル, キャンバス	
住川忠夫	アーゴンのために (Pour Agon)	1971年	80.5×116.6	アクリル, キャンバス	
住川忠夫	線形成 I	1974年	32.0×180.0	アクリル, キャンバス	
住川忠夫	線形成 II	1974年	32.0×180.0	アクリル, キャンバス	
住川忠夫	線形成 III	1974年	32.0×180.0	アクリル, キャンバス	
住川忠夫	線形成(三点によるヴァリエーション)(両面)	1974年	36.7×52.0	写真コラージュ	
住川忠夫	線形成のために I~VII	1980年	各45.5×14.0	水彩, 紙	
住川忠夫	線形成のために(七点によるヴァリエーション)(両面)	1980年	36.7×52.0	写真コラージュ	
住川忠夫	無題	1970年	32.3×24.5	水彩, 紙	
住川忠夫	空間の華(Une fleur spatiale)	1972年	30.5×18.0	アクリル, 紙	
住川忠夫	ある空間形成 (Un aspect spatial)	1975年	22.7×32.0	水彩, 紙	
住川忠夫	L'œil lunaire-1972	1972年	65.0×50.0	セリグラフ, 紙	
住川忠夫	L'être/L'Aperception	1972年	50.0×65.0	セリグラフ, 紙	

○寄贈作品

作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	素材,技法	摘要
住川忠夫	アーゴン-イゴール・ストラビンスキー讃 (Agon-hommage à Igor Stravinsky) (レッド)	1972年	48.5×63.2	セリグラフ, 紙	
住川忠夫	アーゴン-イゴール・ストラビンスキー讃 (Agon-hommage à Igor Stravinsky) (グリーン)	1972年	50.0×65.0	セリグラフ, 紙	
住川忠夫	花粉の熱気 (Chaleur du pollen)	1972年	65.0×49.8	セリグラフ, 紙	
住川忠夫	Chair	1975年	56.5×37.4	セリグラフ, 紙	
住川忠夫	Au bout du temps	1972年	50.0×64.8	セリグラフ, 紙	
住川忠夫	Sur Émanation V	1972年	49.8×64.8	セリグラフ, 紙	
住川忠夫	1本の線と7本の線 (1 ligne v. aux 7 lignes)	1981年	50.0×48.9	セリグラフ, 紙	
住川忠夫	5本の線のために (Pour le cinq lignes) (グレー)	1982年	54.0×48.9	セリグラフ, 紙	
住川忠夫	5本の線のために (Pour le cinq lignes) (ブルー)	1982年	54.0×48.9	セリグラフ, 紙	
住川忠夫	5本の線のために (Pour le cinq lignes) (ワインレッド)	1982年	54.0×48.9	セリグラフ, 紙	
住川忠夫	Rouge: vert/solution ou dissolution sur le papier	1983年	64.9×49.9	セリグラフ, 紙	
司 修	エデンの園に連なる森	1970年頃	27.3×21.7	油彩, 板	
高木由利子	122y's Reflection, Portbello Rd. '88	1988年	27.3×35.3	ゼラチン, シルヴァープリント	
柴田敏雄	モロッコ 1988	1988年	44.4×55.4	ゼラチン, シルヴァープリント	
服部冬樹	オリエンタリズム 1988	1988年	26.0×22.0	ゼラチン, シルヴァープリント	
松江泰治	Gibraltar British Zone 1988	1988年	34.4×50.7	ゼラチン, シルヴァープリント	
松江泰治	Algeciras 1988	1988年	36.8×50.7	ゼラチン, シルヴァープリント	
ウージェーヌ・アジェ	プチダンケルクの看板のあるキャバレー (居酒屋) コンティ河岸通り3番地	1900年 (1977ガスマンによるプリント)	23.0×17.0	ゼラチン, シルヴァープリント	
オディロン・ルドン	彼女は、胸からまっ黒な海綿を引っぱり出して、それを口づけで蔽う (「聖アントワーンの誘惑」シリーズ4点のうちⅧ)	1896年	19.3×15.3	リトグラフ, 紙	
駒井哲郎	人それと呼んで反歌という (詩: 安東次男/16点組) 全19折り	1966年	32.6×50.6 (折り25.3)	銅版, 紙	
畦地梅太郎	山の呼ぶ声 (5点1組)	1963年	22.4×14.9	木版, 紙	

V. 作品貸出

作 品	作 者	期 間	貸 出 先	展覧会名	備考
浴室の2人の女	坂田一男	3.6.20-8.7	石巻文化センター	画家の目とひとのかたち	
戦争 B	飯田善國	3.8.1-9.30	宮城県美術館	昭和の絵画・第2部 —戦争と美術—	
銀	岡田謙三	3.9.5-11.5	宮城県美術館	昭和の絵画・第3部 —戦争美術 その再生 と展開—	
風景（雲）	武内鶴之助	3.9.11 -4.4.10	世田谷美術館	日英美術交流展	4点組
風の声—14	堀 浩哉	3.9.20-12.5	国立国際美術館	近作展9 堀浩哉	
記憶の独立	工藤哲巳	3.9.24 -12.15	国立国際美術館	芸術と日常—反芸術/ 汎芸術	
金髪の裸婦	田中 保	3.9.25-12.6	ふくやま美術館	20世紀・日本の絵画 —modernism and beyond	
無限の網 B	草間彌生	3.9.25-12.6	ふくやま美術館	20世紀・日本の絵画 —modernism and beyond	
観音経筒水指	井高歸山	3.9.25 -11.20	千葉県立美術館	近代陶芸のモダニズム	
炆器花挿（種子の旅）	安原喜明	3.9.25 -11.20	千葉県立美術館	近代陶芸のモダニズム	
窯変青釉花生	安原喜明	3.9.25 -11.20	千葉県立美術館	近代陶芸のモダニズム	
風景	森田恒友	3.10.20 -12.20	埼玉県立近代美術館	森田恒友とその時代	
コニーアイランド遊園地	篠原有司男	3.12.11 -4.8.10	広島市現代美術館, 徳 島県立近代美術館, つ かしんホール, ハラ・ ミュージアム・アーク	篠原有司男展	
観音経筒水指	井高歸山	3.12.15 -4.3.5	洲本市淡路文化史料館	井高歸山故郷へ帰る	
ロンドン国会議事堂	栗原忠二	4.1.15-4.10	世田谷美術館	日英美術交流展	
Resonance of Profiles: Stratification	宇佐美圭司	4.1.31-6.25	セゾン美術館, 大原美 術館, ライカ本店	宇佐美圭司回顧展	
Ghost Plan in Process-Pro- file I-IV	宇佐美圭司	4.1.31-6.25	セゾン美術館, 大原美 術館, ライカ本店	宇佐美圭司回顧展	
ヴィリエ・シュール・モラン	宮田重雄	4.2.17-3.3	武蔵野市民文化会館	宮田重雄展	
車中の少女	野田英夫	4.3.26-5.31	熊本県立美術館	壁面帰郷記念展「野田英 夫そして多毛津忠藏」	

VI. 刊行

1. ピリエ (目黒区美術館ニュース)

目黒区美術館では、美術館活動の広報を目的に、美術館ニュース「ピリエ」を発行している。「ピリエ」(Piliers)は、フランス語で「柱、支柱」あるいは「支柱となる人、物」のことで、当館のエントランスホール正面にある4本の柱を意味している。

第6号

発行：1991年7月26日

サイズ：A4

ページ数：6頁

第7号

発行：1991年12月25日

サイズ：A4

ページ数：8頁

2. 目黒区美術館年報 平成元・2年度

発行：1992年3月31日

サイズ：B5

ページ数：80頁



ピリエNo.6



ピリエNo.7



年報 平成元・2年度

Ⅶ. 区民ギャラリー

展 覧 会 名	期 間	延日数	主 催 者	入場者数
第6回私立中高合同美術展	4/2-4/7	6	長 洋光	400
シルクスクリーン7人展	4/9-4/14	6	長崎澄子	350
春雷	4/16-4/21	6	池田佳子	450
鈴木紀友個展「ザイール」	4/16-4/21	6	鈴木紀友	450
四方◎立体	4/24-4/29	6	猿渡得雅	100
第5回水彩驚会展	5/1-5/6	6	松島 靖	1050
グループ展「発熱」	5/8-5/12	6	林 武	170
第4回アクリラート展	5/14-5/26	12	ホルベインスカラシッブ	2148
スリランカ児童画展	5/28-6/2	6	目黒区国際交流協会	689
原正明油絵個展	6/4-6/9	6	原 正明	310
tri-color 1991(伊藤佳個展)	6/11-6/16	6	齋田和夫	150
筆子会書道展	6/14-6/16	3	吉岡 敢	180
11・12・13期の会	6/18-6/23	6	津波古真人	100
第25回木洋会絵画展	6/18-6/23	6	木洋会	256
11人展	6/25-6/30	6	井内一公	220
アトリエなのか展	6/25-6/30	6	山根俊夫	250
ささのはさらさら展	7/2-7/7	6	武藤 卓	150
鈴木郁子・杉崎匡史展	7/9-7/14	6	杉崎匡史	100
緑が丘写真クラブ第2回作品展	7/9-7/14	6	緑が丘写真クラブ	100
第9回萌芽会展	7/16-7/21	6	萌芽会	272
世界の名画模写展	7/23-7/28	6	佐々木巖	226
第34回「明日への手」児童美術展	7/30-8/4	6	芸術による教育の会	1540
夏展	8/6-8/11	6	笠原理恵	200
91 水耀会展	8/6-8/11	6	水耀会	200
らゆう会展	8/13-8/18	6	らゆう会	376
クロッキーの会展	8/20-8/25	6	クロッキーの会	200
墨洋書会展	8/20-8/25	6	墨洋書会	361
わくわくワーク展	8/27-9/1	6	家坂美朱	150
共振する離点展	9/3-9/8	6	小坂達哉	210
第14回アトリエ・エビス展	9/10-9/16	7	アトリエ・エビス	300
東京・ソウル交流展	9/18-9/23	6	東京・ソウル交流展実行委員会	500
第2回和紙絵展	9/25-9/29	5	中村裕子	200
横江隆史・小林宏樹展	9/25-9/29	5	横江隆史	181
区民まつり「区民作品展」	10/8-10/13	6	区民まつり実行委員会	1897
S×K×F=10 ² (エスケープ展2)	10/15-10/20	6	セツ・モードセミナー有志一同	151
第2回孝彩会展	10/15-10/20	6	孝彩会	200
MOA児童画作品展	10/22-10/27	6	MOA	330

展 覧 会 名	期 間	延日数	主 催 者	入場者数
第1回勤労者美術展	11/2-11/9	7	目黒区勤労福祉会館	300
平沢由里子一口唇一展	11/12-11/16	5	平沢由里子	114
目黒ユネスコ美術展	11/19-11/24	6	目黒ユネスコ協会	600
第6回バスケットリー展	11/26-12/1	6	バスケットリー	133
西広生・国分紋子・山本浩子展	11/26-12/1	6	山本浩子	270
東京造形大版画コース プリントショー展	12/3-12/8	6	高安淳生	350
WORK 3展	1/21-1/26	6	山口あけみ	200
EXHIBITION展	1/28-2/2	6	赤木己恵	172
女子美大プロダクト4年卒業制作展	3/3-3/8	6	女子美大卒業生	223
8 ANGLES展	3/3-3/8	6	添野和幸	150
セラミカ大帝国展	3/10-3/15	6	山崎直子	70
小童展	3/10-3/15	6	松本華子	200
目黒イーゼル会展	3/17-3/22	6	目黒イーゼル会	400
Non title展	3/24-3/29	6	和田恵美子	150
喜寿を迎えて 田中萬亀子展	3/24-3/29	6	田中萬亀子	270
もうひとつの美術展	3/31-4/5	6	(尙)アトリエ・テラ	100
すいすい展	3/31-4/5	6	津波古真人	300
計54回		326		19,119

VIII. ボランティア

生涯学習の振興に向けてボランティア活動の重要性が指摘される中、地域においても美術館を通しての社会奉仕活動を希望する人々が多く存在するようになってきた。美術館としてもそのような要望に応え、また住民のニーズを把握し、美術文化の地域への振興を図っていくため、ボランティア活動を積極的に援助していく必要がある。

目黒区美術館では昭和62年11月の開館時よりボランティアを受け入れ、現在はラウンジ(喫茶コーナー)運営、ワークショップ活動補助等を行うなどし、幅広い活動の展開を目指している。

1. 平成3年度募集

「広報めぐろ」平成4年2月15日号に募集記事を掲載。
138名の応募があり、内39名をボランティアとして登録した。

平成4年2月6日 訪問先：目黒雅叙園美術館
バスによる美術館見学会

2. 参加者

- (1)従来からの登録者 30名
- (2)平成3年度新規登録者 39名

2月15日 訪問先：静岡県立美術館

3月6日 新規参加者募集(広報めぐろ)

展覧会鑑賞会「石川光陽展」

解説：森田峰子(森田写真事務所)

3. 活動内容

3月15日 新規参加希望者説明会

(1)ラウンジ運営

3月18日 //

活動時間 午後0時30分から4時30分まで(ラウンジ
営業時間は午後1時から4時まで)

当番 原則として平日2人、土・日各3人

(2)ワークショップ講座アシスタント

「ワークショップ・手と目の冒険広場『水のアラベスク』」

講座名：「雨の日は待ちどおしい 自分だけの傘」

内容：透明な傘にいろいろな絵を書き、自分だけのオリジナルな傘を作る。

日時：平成3年9月13日、27日、10月3日

いずれも午後2時から4時まで

受講者：事前申し込みによりのべ32名参加

ボランティア活動内容：ボランティアは講師のアシスタントとして、3名1組で受講者に指導を行った。

なお、指導方法についての講習会を事前に実施した。

参加ボランティア数：延べ9人

(3)研修講座の受講および自己研修(年間活動記録参照)

(4)その他

懇親会等を実施した。

4. 年間活動記録

平成3年4月12日	懇親会
5月	グループ別美術館探訪会(期間：9月まで)
6月14日	展覧会鑑賞会「目黒名〈画〉座」 解説：正木 基(学芸員)
9月	ワークショップ講座アシスタント
10月	//
11月14日	展覧会鑑賞会「ドイツ表現主義 ブリュッケ展」 解説：矢内みどり(学芸員)
//	美術館鑑賞会

IX. 沿革

- | | | | |
|----------|---|---------|-------------------------|
| 昭和45年 | 長期計画基本構想で「芸術文化の振興の拠点として総合文化施設の設置」を決定 | 昭和62年3月 | 「目黒区美術館条例」公布 |
| 昭和54年7月 | 長期計画実施計画で「美術館の設置」を決定 | 4月 | 目黒区美術館新築工事落成式（4/14） |
| 昭和54年12月 | 美術館開設準備室設置 | 10月 | 財団法人目黒区芸術文化振興財団設立（10/1） |
| 昭和55年3月 | 目黒区美術博物館建設検討委員会設置 | 11月 | 目黒区美術館開館（11/15） |
| 4月 | 「東京都目黒区博物館資料取得基金条例」施行 | | |
| 昭和56年1月 | 目黒区美術博物館建設検討委員会答申「目黒区が建設する美術博物館の基本構想のあり方について」 | | |
| 3月 | 目黒区美術館博物館建設専門委員設置 | | |
| 4月 | 目黒区美術博物館（仮称）設置の方針策定 | | |
| 11月 | 目黒区立美術館（仮称）資料収集委員会要綱を制定 | | |
| 昭和57年2月 | 博物館併設構想から美術館単独構想へ変更 | | |
| 3月 | 第一回資料収集委員会開催—資料収集を開始 | | |
| 10月 | 区制施行50周年記念事業に位置づけ | | |
| 昭和59年2月 | 目黒区美術館（仮称）基本構想策定（58年6月策定開始） | | |
| 10月 | 目黒区美術館（仮称）基本設計策定 | | |
| 昭和60年3月 | 目黒区美術館（仮称）実施設計策定 | | |
| 6月 | 目黒区美術館開設準備委員・臨時委員設置 | | |
| 8月 | 目黒区美術館開設準備顧問就任
目黒区美術館マーク制作 | | |
| 11月 | 「プレビュー・目黒区美術館」展開催（11/12—11/17） | | |
| 12月 | 目黒区美術館（仮称）新築工事起工式（12/12） | | |
| 昭和61年7月 | 美術館管理運営の財団委託方針決定 | | |
| 9月 | 「プレビュー・目黒区美術館2」展開催（9/9—9/15） | | |
| 12月 | 目黒区美術館（仮称）新築工事定礎式（12/5） | | |

X. 施設

●工事概要

建築

所在地：東京都目黒区目黒二丁目4番36号
地域・地区：住居地域・準放火地域・第3種高度地区
敷地面積：2,033.53m²
建ぺい率：66.45%
容積率：199.61%
構造・規模：鉄骨鉄筋コンクリート造
地上3階・地下1階
建物高さ：17.89m
延床面積：4,059.21m²
構造
主体構造：鉄骨鉄筋コンクリート造
その他：外壁花崗岩貼りジェットバーナー仕上げ（乾式工法）

工期：着工昭和60年12月2日

竣工昭和62年3月31日

設計・監理：株式会社日本設計事務所

建築：株式会社竹中工務店東京本店

空調設備：株式会社朝日工業社本店

衛生設備：足立工業株式会社東京支店

電気設備：中国電気工事株式会社東京支店

昇降機設備：横浜エレベーター株式会社

●面積表

展示・教育普及
展示室A：319.10m²
展示室B：170.46m²
展示室C：65.80m²
展示ロビー：44.80m²
ワークショップ：148.47m²
廊下・階段・その他：203.17m²
小計：951.8m²
区民ギャラリー
区民ギャラリー：379.53m²
控室：14.5m²
区民ギャラリーエントランス・階段・その他：198.82m²
小計：592.85m²
研究調査
資料室：102.79m²
修復室：46.09m²
小計：148.88m²
収蔵
収蔵庫A：408.36m²
収蔵庫B：53.85m²
前室：48.53m²
荷解室：62.58m²

搬出入口：56.57m²

展示用具室：73.40m²

エレベーター・倉庫・その他：229.63m²

小計：932.92m²

管理

事務室：58.05m²

館長室：32.47m²

理事長室：24.58m²

中央管理室：20.64m²

休養室：24.29m²

ワークショップ準備室：31.36m²

映像準備室：14.40m²

廊下・階段・その他：178.18m²

小計：383.97m²

ホール等

エントランス：169.85m²

ラウンジ：55.84m²

ベビーコーナー：5.27m²

廊下・その他：343.58m²

小計：574.54m²

機械室等

機械室：277.14m²

電気室：67.59m²

エレベーター機械室・自家発電気室・その他：129.52m²

小計：474.25m²

合計：4,059.21m²

XI.案内

観覧時間：10：00a.m.-6：00p.m.

(ただし入館は5：30まで)

休館日：月曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)

年末年始

観覧料：展覧会ごとにその都度定める。



交通案内：

- JR山手線目黒駅(西口)，東急目蒲線目黒駅より徒歩10分
- バス，渋谷駅より東急 渋41-大井町駅行，田道小学校入口下車3分

目黒駅より東急，都営

黒01-大岡山小学校行/ 黒02-二子玉川園行/ 黒06-三軒茶屋行/ 恵73-弦巻営業所行/ 東98-等々力操車場行/	} 権之助坂下車3分
--	------------

平成3年度
目黒区美術館年報

1993年3月1日発行

編集・発行—目黒区美術館

〒153 目黒区目黒2-4-36

TEL 03-3714-1201(代)

制作—印象社